NTT docomo

F-04C

取扱説明書　’11.1

docomo STYLE series

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「docomo STYLE series F-04C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
F-04Cをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

F-04Cの操作説明について

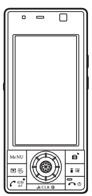
F-04Cの操作は、本書のほかに、「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

「取扱説明書（本書）」	画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明 ※ 🔍は「使いかたガイド」の索引用語です。
「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）	よく使われる機能の概要や操作について説明 F-04Cの待受画面から MENU ▶ 6 LifeKit ▶ ＊ 使いかたガイド ▶ 検索方法を選択
「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）	すべての機能の詳しい案内や操作について説明 〈パソコンから〉　ドコモのホームページでダウンロード http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html ※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

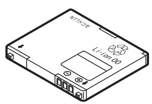
- この『F-04C取扱説明書』の本文中においては、「F-04C」を「FOMA端末」と表記しています。
- 本書は、きせかえツールを「White」、スクリーン設定を「ホワイト」に設定した画面を掲載しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作（⇒P31）を行う操作を表しています。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

本体付属品について

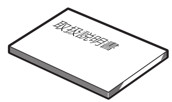
F-04C
（リアカバー F56、保証書含む）



電池パック F19

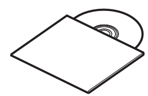


取扱説明書（本書）

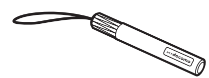


※「取扱説明書（詳細版）」はドコモのホームページよりご覧ください。

F-04C用 CD-ROM



タッチペン F01



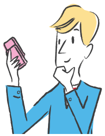
対応しているオプション品について⇒P76

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

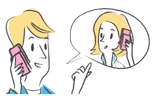
目　次

はじめに

基本の操作



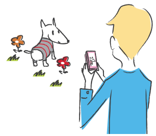
つながる



しらべる



たのしむ



より便利に



その他

FOMA端末について

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

F-04Cでできること

iコンシェル　63

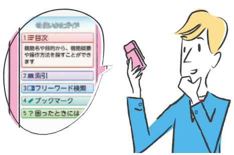
執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

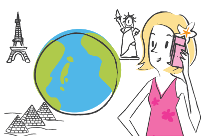
使いかたガイド　23

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。



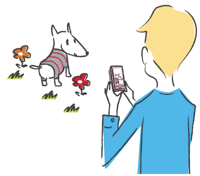
国際ローミング（WORLD WING）　43

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアに対応）。



高機能カメラ　53

「トラッキングフォーカス」「スマイルファインダー」「サーチミーフォーカス」「顔補正」などデジタルカメラ並みの高機能を数多く備えたカメラを搭載しています。
約130万画素（有効画素数）のインカメラを搭載しているので、自分自身もきれいに撮影することができます。



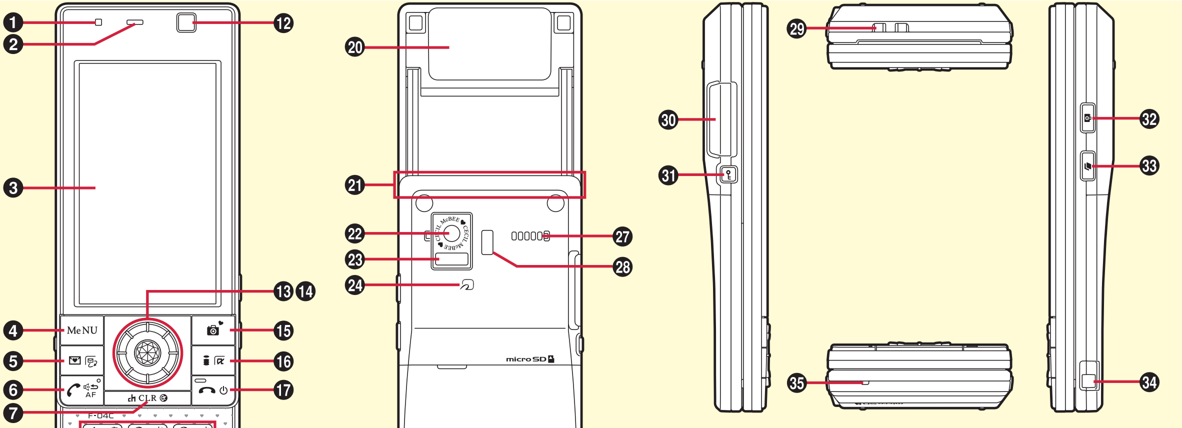
親子モード　35

使える機能を制限することで、安心して本FOMA端末をお子さまにご利用いただくことができます。



各部の名称と機能

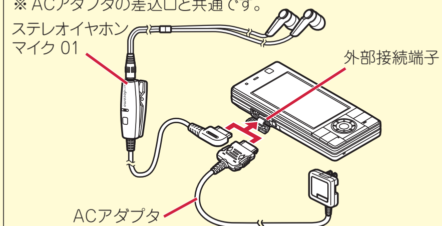
F-04Cの各部の名称とそれぞれに割り当てられている代表的な機能を紹介します。押す長さによって異なる機能が動作するキーがあります。機能利用の際は、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」などで操作手順をご確認ください。



※イラストはイメージです。お買い上げいただいたFOMA端末のカラーにより印刷されている文字の書体やマークは異なります。

外部接続端子用ステレオイヤホンマイク 01（別売）接続例

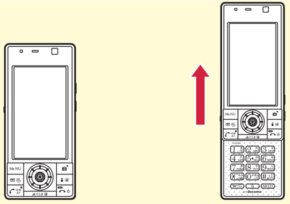
※ACアダプタの差込口と共通です。



❶ **光センサー**
※手で覆ったりシールを貼ったりしないでください。
❷ **受話口**
❸ **ディスプレイ（タッチパネル）⇒P20、55**
※らくがき盛りフォトでのみ、タッチパネルとして利用できます。
❹ **MENU MENUキー**
メニューの表示
❺ **メール／文字キー**
メールメニューの表示、入力モードの切り替え
❻ **音声電話開始キー**
❼ **CLR ch／クリアキー**
ｉチャネルの表示、前画面に戻る操作
❽ **0～9 ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択
❾ **＊／公共モード（ドライブモード）キー**
「＊」や濁点・半濁点の入力、公共モード（ドライブモード）の起動／解除
❿ **ｉウィジェット／TVキー**
ｉウィジェットの起動／終了、ワンセグの起動
⓫ **サーチキー**
クイック検索の起動
⓬ **インカメラ**
自分の映像の撮影、テレビ電話での自分の映像の送信
⓭ **ランプ**
充電時や着信時などに点灯・点滅
⓮ **クルクルキー（マルチカーソルキー）⇒P22**
カーソルの移動、メニューの操作
◉：操作の実行
：スケジュール帳の表示や音量調整
：電話帳の表示や音量調整
：着信履歴の表示
：リダイヤルの表示
※機能によっては、8方向の操作が可能です。
⓯ **カメラキー**
静止画撮影／らくがき盛りフォトの起動
⓰ **ｉモード／ｉアプリキー**
ｉMenu、ｉアプリフォルダの表示
⓱ **電源／終了キー**
電源のオン／オフ、操作中の機能の終了
⓲ **＃／マナーモードキー**
「＃」や句読点の入力、マナーモードの起動／解除
⓳ **MULTI マルチタスクキー**
通話中や操作中に別の機能を実行（マルチアクセス／マルチタスク）
⓴ **ミラー**
㉑ **FOMAアンテナ部（本体内蔵）**
※手で覆わないでください。
㉒ **アウトカメラ**
静止画／動画の撮影、テレビ電話での映像の送信
㉓ **赤外線ポート**
赤外線通信、赤外線リモコン機能
㉔ **マーク**
おサイフケータイの利用、iC通信でデータの送受信
㉕ **リアカバー**
※リアカバーを外して電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。
㉖ **充電端子**
㉗ **スピーカー**
着信音、ハンズフリー機能利用中に相手の声を聞く
㉘ **ライト／撮影お知らせランプ**
静止画撮影時などのランプ、カメラのライト、簡易ライト
㉙ **ストラップ取付口**
㉚ **外部接続端子**
別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付USB接続ケーブル02、ステレオイヤホンマイク 01などの接続
㉛ **ロックキー**
スライドスタイルでは画面オフ、クローズスタイルでは誤操作防止ロックの起動／解除
㉜ **サイドカメラキー**
各種アラーム音やバイブレータの停止、着信中にクイック伝言メモの起動、通話中に音声メモや動画メモの起動／停止、静止画撮影の起動
㉝ **サイドマルチキー**
通話中や操作中に別の機能を実行（マルチアクセス／マルチタスク）
㉞ **ワンセグアンテナ**
※視聴時は電波を十分に受信できるように伸ばしてください。
㉟ **マイク（送話口）**
※使用中はふさがないでください。

利用スタイル

本FOMA端末はFOMA端末を閉じていても機能を利用することができます。



クローズスタイル
（閉じた状態）

スライドスタイル
（開いた状態）

※イラストはイメージです。お買い上げいただいたFOMA端末のカラーにより印刷されている文字の書体やマークは異なります。

FOMA端末を上方向にスライドさせる（FOMA端末を開く）とスライドスタイルになります。クローズスタイルにするには逆方向にスライドさせます（FOMA端末を閉じる）。

スライドスタイル

スライドスタイルではすべてのキー操作ができます。

クローズスタイル

クローズスタイルでは、モーションセンサーのオートローテーション機能で、FOMA端末の傾きに合わせて縦画面と横画面が切り替わります。
クローズスタイルでもメニュー操作、電源を入れる／切る操作などができます。

Point

- FOMA端末を開閉する際に無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの故障や破損の原因となります。
- ストラップを挟んだままFOMA端末を閉じないようにしてください。故障や破損の原因となります。
- ディスプレイ面の裏面やキーのある面にラベルやシールなどを貼らないでください。故障や破損などの原因となります。
- 持ち運ぶ際はクローズスタイルにし、キーの誤操作防止や電池の消費節約のため[鍵]を押して誤操作防止ロックをかけてください。
- ディスプレイ面を下向きにしたまま机の上などに置かないでください。ディスプレイの表面に傷がつく恐れがあります。
- かばんなどに入れる際は、ディスプレイに硬い物がぶつからないようにしてください。傷、故障、破損の原因となります。

Information

- FOMA端末を開いて編集画面などを表示させたり【スライド編集設定】、音声電話がかかってきたときにFOMA端末を開いて応答できたり【着信オープン応答】するように設定することができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカード、タッチペンの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止
火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止
水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示
FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止
強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示
使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止
湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示
FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止 **FOMA端末が破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 **モーショントラッキングやモーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。**
けがなどの事故の原因となります。

禁止 **誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。****⇒「材質一覧(P13)」**

指示 **FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。**
けがなどの事故の原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。**
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止 **端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **火の中に投下しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
失明の原因となります。

⚠警告

禁止 **落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示 **ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止 **濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱い

⚠警告

禁止 **アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。**
感電の原因となります。

禁止 **コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。**
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なＡＣアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示 **DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く **長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く **万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

タッチペンの取り扱い

⚠警告

禁止

タッチペンを人に向けないでください。

本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

禁止

タッチペンをFOMA端末に取り付けているときに、タッチペンを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	可動部ディスプレイ面	PA-GF樹脂	UVハードコート
	可動部外周側面	ABS樹脂	UVハードコート
	可動部背面	ステンレス鋼	UVハードコート
	可動部背面（上端側）	ABS樹脂	UVハードコート
	固定部　操作キー面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	固定部　電池面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC+ABS樹脂	UVハードコート
可動部ネジキャップ		ABS樹脂	UVハードコート
ディスプレイパネル		アクリル樹脂＋PETシート	なし
クルクルキー		PC樹脂	UVハードコート
クルクルキーカバー		PC+ABS樹脂	UVハードコート
可動側操作キー		PC樹脂	UVハードコート
背面ミラーシート		アクリル樹脂	UVハードコート
操作キー		PC樹脂	UVハードコート
サイドキー		PC樹脂	UVハードコート
ロックキー		PC樹脂	UVハードコート
カメラパネル		アクリル樹脂	UVハードコート
モバイルライトパネル		アクリル樹脂	シボ
固定部ネジキャップ		シリコンゴム	なし
外部接続端子キャップ		エラストマ樹脂（TPEE）	UVハードコート
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
地デジアンテナ	アンテナTOP	PC+ABS樹脂	シボ
	パイプ部	ステンレス鋼	なし
	根元屈曲部	ニッケルチタン	なし
	根元回転部	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
電池端子	電池端子コネクター本体	PPS樹脂	なし
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ
充電端子		ステンレス鋼	金メッキ
ドコモUIMカードトレイ		POM樹脂	なし
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **キーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- **FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールなどを貼らないでください。**
  - FOMA端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損の原因となります。

- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

- **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

タッチペンについてのお願い

- **らくがき盛りフォトを操作するときには付属のタッチペンを使用してください。**
  - 指定品以外のものを使用すると、ディスプレイを破損、汚濁させる原因となります。
- **付属のタッチペンは他の機器には使用しないでください。**
  - 機器の故障、破損の原因となります。

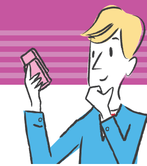
FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中は、携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

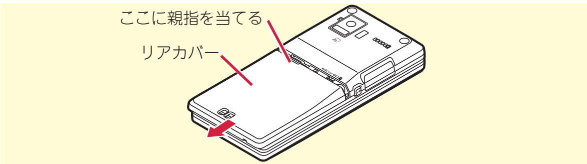
ドコモUIMカード／電池パックの取り付け



取り付けは電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って正しく行ってください。

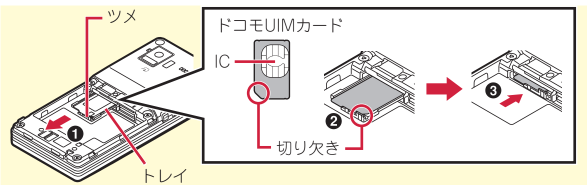
✤ リアカバーの取り外し

FOMA端末がスライドしないように片方の手でしっかり持ち、もう一方の手の親指でリアカバーを押しながら、矢印の方向に約3mmスライドさせて外す。



✤ ドコモUIMカードの取り付け

ツメに指をかけ「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す（❶）。IC面を下にし、切り欠きの向きを合わせてドコモUIMカードをトレイにセットし（❷）、トレイを奥まで押し込む（❸）。

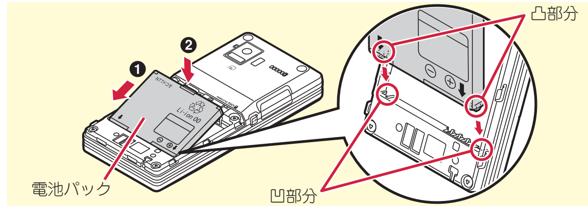


Point

- 本FOMA端末ではFOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

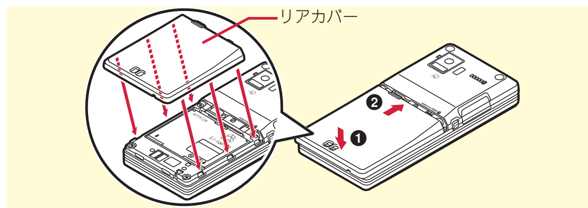
✤ 電池パックの取り付け

電池パックのラベル面を上にし、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む。



✤ リアカバーの取り付け

リアカバーの6箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける。



充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。
必ず専用のACアダプタで充電してからお使いください。

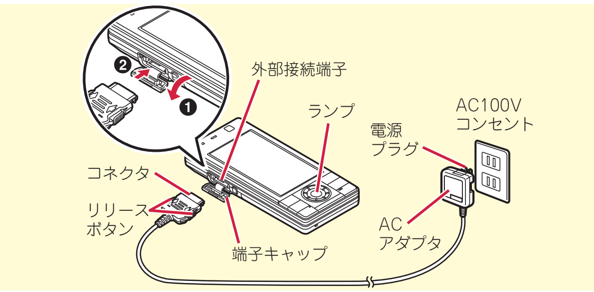
ACアダプタによる充電

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）

2 電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

※ ランプが点灯したことを確認してください。

3 充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く



卓上ホルダと組み合わせた充電

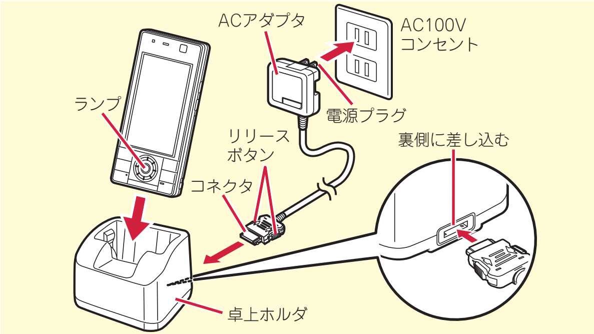
1 ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

3 FOMA端末を閉じた状態で、卓上ホルダに差し込む

※ ランプが点灯したことを確認してください。

4 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す



✜ 充電中の動作

充電が始まると開始音が鳴ります。充電中はランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると完了音が鳴ります。

電源を入れる～初期設定

初めてFOMA端末の電源を入れたときに行う操作です。

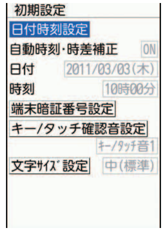
1 [⌒]（2秒以上）

2 **拡大メニューの設定の確認画面で「はい」or「いいえ」**

右の画面が表示されます。

3 **各項目を設定▶[📷]［終了］**

端末暗証番号設定は必ず設定してください。設定せずに終了すると、次に電源を入れたときに再び初期設定画面が表示されます。



〈初期設定画面〉

4 **ソフトウェア更新機能の確認画面で◉**

待受画面が表示されます。

Point

- 何も操作しないでいると、画面オフ時間設定やecoモード設定に従って自動的にディスプレイが消灯します。何らかの操作（クルクルキーの回転操作を除く）や電話の着信などによって、ディスプレイは再び点灯します。
- 誤操作防止ロック中は、電源を切ることができません。

電源を切る：[⌒]（2秒以上）

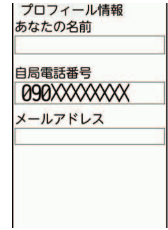
初期設定の変更：[MENU]▶[8][7][5][7]

プロフィール情報

自分の電話番号を確認します。
メールアドレスの確認／変更方法については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 **[MENU]▶[0]プロフィール**

右の画面が表示されます。



〈プロフィール情報画面〉

Point

- プロフィール情報には、自分の電話番号、メールアドレスのほかに、誕生日、郵便番号／住所、会社名などを登録することができます。

プロフィール情報を編集：プロフィール情報画面で[📷]▶認証操作▶編集▶[📷]

通話中などにプロフィール情報を確認：[MULTI] or [▮]▶[0]

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。ここでは主なマークを紹介します。

ディスプレイ上部

電池残量（電池アイコン）

多い ←→	ほとんどない（充電が必要）

電波受信レベル（アンテナアイコン）

	圏外
強 ←→ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

SELF：セルフモード中
：データ転送モード中
：ｉモード接続中
：赤外線通信中
：積算通話料金が上限を超過
：ハンズフリー対応機器で通信中
：ハンズフリー ON
：ecoモード中
：画面オフロック中
：電話帳、スケジュールがシークレット属性設定中
：ワンタッチアラーム設定が「ON」
：親子モード設定中
：未読エリアメールあり
：未読ｉモードメールあり
：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
：ｉモードセンターに未受信のｉモードメールあり
SSL：SSL／TLSページ表示中など
AUTO：圏内自動送信メールあり
：Music&Videoチャネル番組取得予約あり
：ｉアプリ動作中
：ｉアプリコール受信あり
：目覚まし設定中
：スケジュールアラーム設定中
OFFICEED：OFFICEEDエリア内

ディスプレイ下部



新着情報（左から、不在着信、伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、未読メール、未読トルカ、ｉアプリコール）

※ 新着情報やｉコンシェルのインフォメーションが表示されているとき、カレンダー／待受カスタマイズや待受ショートカットを設定しているときは、待受画面で◉を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。CLRまたは を押すと、フォーカスモードは解除されます。

：マナーモード中
：電話着信音量消音設定中
：音声電話着信バイブレータ設定中
：公共モード（ドライブモード）中
：伝言メモ設定中
：ダイヤル発信制限中
：パーソナルデータロック中
：Music&Videoチャネル取得失敗
：ドコモUIMカード読み込み中
IC：ICカードロック中
：有効マルチカーソルキー
REC：ワンセグ予約録画中
：ｉアプリ自動起動失敗
SD：通信モード中にmicroSDカードあり
：USBケーブルで外部機器と接続中
：ウォーキング／Exカウンター設定中
：ソフトウェア更新書き換え予告
：最新パターンデータ自動更新失敗

メニュー操作

待受画面で[MENU]を押し、メニューから機能を実行します。ダイヤルキーや[*]、[#]でメニューを選択するショートカット操作と、カーソル移動で行うマルチカーソル操作があります。

〈例〉「電卓」を選択する

ショートカット操作

1 [MENU] ▶ [7] ▶ [4]

マルチカーソルキー操作

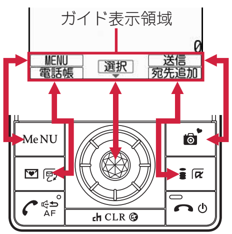
1 [MENU] ▶「[7]アクセサリー」にカーソル ▶ ◉［選択］▶「[4]電卓」にカーソル ▶ ◉［選択］

Point

- 機能起動中も、ガイド表示領域に「MENU」と表示されている場合は同様に操作します。
- 1つ前の画面に戻すには[CLR]を押します。待受画面に戻すには[⏎]を押します。

ガイド表示領域とキー操作

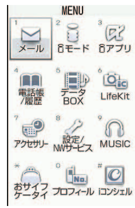
ガイド表示領域には、[MENU]、[✉]、◉、[📷]、[iα]を押して実行できる操作が表示されます。ガイド表示領域に表示されている操作を行うには、表示位置に対応するキーを押します。
また、ガイド表示領域の◆は、マルチカーソルキーの✪に対応しています。



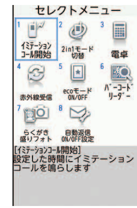
※ イラストはイメージです。お買い上げいただいたFOMA端末のカラーにより印刷されている文字の書体やマークは異なります。

メニュー画面の切り替え

きせかえツール（⇒P29）でデザインを変更できる「きせかえメニュー」、メニュー番号が固定の「ベーシックメニュー」、メニュー項目を自由に登録できる「セレクトメニュー」を切り替えて使用できます。
お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたきせかえメニューが設定されています。


〈ベーシックメニュー〉


〈きせかえメニュー〉


〈セレクトメニュー〉

Point

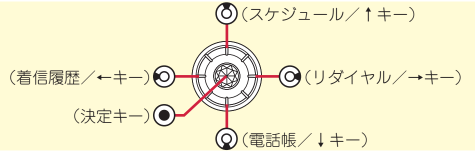
- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものや、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
- 待受画面で[MENU]を押したときに表示されるメニューは、表示メニュー設定で変更できます。⇒P27

クルクルキー

クルクルキーは上下左右や中央を押す操作（マルチカーソルキー）のほかに、左右に回転させて、メニュー操作やカーソルの移動、機能の起動などの操作を行うことができます。

マルチカーソルキーとして使う

クルクルキーはマルチカーソルキーと次のように対応しています。

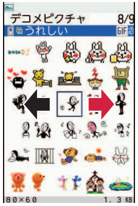


回転して使う

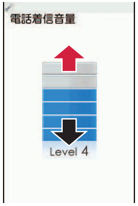
クルクルキーを回転させて、カーソルの移動、ブラウザ画面のスクロール、各種音量調整、カメラのズーム調整、目覚まし停止などの操作をすることができます。回転の動作は、クルクルキー設定に従います。
回転の移動方向と画面でのカーソル移動は次のように対応しています。




〈メニュー一覧〉


〈デコメ®ピクチャ一覧〉


〈メール詳細画面〉


〈音量調整画面〉

クルクルキー設定

クルクルキーの回転操作の有効／無効、移動方向や回転で起動する機能、回転速度について設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ * クルクルキー設定 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］**

最大速度設定が「超高速」で、メール詳細画面とブラウザ画面で超高速で回転動作しているときは、ディスプレイ上部にが表示されます。

Point

- 待受起動設定が「設定なし」以外のときは、待受画面でクルクルキーを回転すると設定した機能が起動します。「ガイド表示」のときは、マルチカーソルキーの操作ガイドが表示されます。
- 音量調整やカメラのズーム調整、一部の数値入力の操作などでは、移動方向の設定が適用されません。

使いかたガイド

機能の概要や操作方法、困ったときの対処方法を調べることができます。

1 **[MENU]▶[6]LifeKit▶[＊]使いかたガイド▶検索方法を選択**

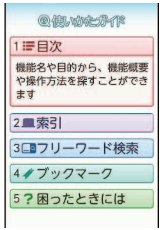
目次：機能の一覧から選択して調べます。

索引：50音順の用語一覧から選択して調べます。

フリーワード検索：探したいキーワードを入力して調べます。

ブックマーク：ブックマークに登録した一覧から調べます。

困ったときには：トラブルの現象やエラーメッセージから調べます。



〈使いかたガイド画面〉

Point

- 説明画面では、「この機能を使う」を選択して機能を実行できます。「関連機能」内のリンク項目や「→コチラ」を選択すると、関連する機能の説明画面が表示されます。
- 本書内の【@】で示した用語は、「使いかたガイド」の索引用語です。

文字入力

文字を入力するには、2つの入力方式があります。

入力方式の違い

	かな入力方式	2タッチ入力方式
概要	1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押して文字を切り替えて入力	2つのキーを組み合わせて押すことで1つの文字を入力
入力例	「ろ」：[9]を5回 「っ」：[4]を3回▶[＊] 「ぽ」：[6]を5回▶[＊]を2回 「ん」：[0]を3回 「ぎ」：[2]を2回▶[＊]	「ろ」：[9][5] 「っ」：[8][0][4][3] 「ぽ」：[8][0][6][5][0][5] 「ん」：[0][3] 「ぎ」：[2][2][0][4]
入力中操作	[↙]：1つ前の文字に戻す（例：お⇒え⇒う⇒…）	—
	[CLR]：文字の削除 [＊]：濁点・半濁点の付加や大文字／小文字の切り替え	

入力モードの切り替え

文字入力画面で[✉]を押すたびに、**漢**（ひらがな／漢字）⇒**ｱ**（半角カタカナ）⇒**A**（半角英字）⇒**1**（半角数字）⇒**漢**（ひらがな／漢字）…と入力モードが切り替わります。

- ◎で全角／半角の切り替えができます。

文字入力設定

文字入力の入力方式や、入力時の動作を設定します。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 3 文字入力設定 ▶ 5 入力設定 ▶ 各項目を設定 ▶ [カメラ]［登録］

絵文字・顔文字の入力

絵文字の入力

1 文字入力画面で［絵・記号］が表示されているときに [カメラ]［絵・記号］

現在、表示されている絵文字一覧の種類を確認できます。絵文字一覧では、[カメラ]を押すたびに［絵文字］［絵文字D］が切り替わります。

最近使用した絵文字が入力履歴として表示されます。

ページが複数あるときには [メール]［前ページ］または [iアプリ]［次ページ］を押して、切り替えます。絵文字Dの場合は、[発信]を押してフォルダを切り替えることができます。



2 絵文字を選択

CLR を押すと、絵文字一覧は閉じます。

メール本文の編集画面での顔文字の入力

1 文字入力画面で MENU ▶ 5 顔文字・引用・定型文 ▶ 1 顔文字 ▶ 顔文字種別を選択 ▶ 顔文字を選択

その他文字入力画面での顔文字入力：MENU ▶ 5 3 ▶ 顔文字種別を選択 ▶ 顔文字を選択

Information

- よく使う文章や単語を登録することができます。【文字入力 ▷ 定型文｜単語登録】
- 入力した文字をコピーしたり、切り取ったり、貼り付けたりすることができます。【文字入力 ▷ コピー｜切り取り｜貼り付け】

音の設定

着信音を変更したり、音量を調整したり、FOMA端末から出る音を消したり、音に関する設定を行います。

音設定

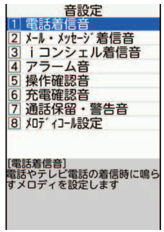
好きなメロディなどを着信音やアラーム音に設定することができます。

〈例〉電話着信音（電話着信音／テレビ電話着信音）の設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 1 音／バイブ ▶ 1 音設定**

電話着信音のほかにも、メール・メッセージ着信音やｉコンシェル着信音などを設定することができます。

2 **1 電話着信音 ▶ 1 電話着信音 or 2 テレビ電話着信音 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］**



〈音設定画面〉

Point

- 電話着信音を設定すると、電話着信設定およびテレビ電話着信設定にも反映されます。
- ミュージックや動画／ｉモーションによっては、着信音に設定できない場合があります。

音量設定

着信音やアラーム音などの音量を設定します。

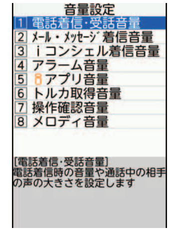
〈例〉電話着信音量の設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 1 音／バイブ ▶ 2 音量設定**

電話着信音量のほかにも、メール・メッセージ着信音やｉコンシェル着信音などの音量を設定することができます。

2 **1 電話着信・受話音量 ▶ 1 電話着信音量 ▶ ✣ ▶ ●［選択］**

音量は「Silent」「Level 1」～「Level 6」「Steptone」の中から選択します。



〈音量設定画面〉

Point

- 「Silent」に設定したときには、待受画面に🔇が表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときは📳が表示されます。

Information

- 電話を着信したときの着信音やイメージ表示、バイブレータの動作パターン、イルミネーションを設定できます。【🔍電話着信設定】【🔍テレビ電話着信設定】
- 着信やアラームを音ではなく、振動で知らせることができます【🔍バイブレータ設定】

マナーモード

着信音、キー／タッチ確認音、スライド操作音、クルクルキー操作音、アラーム音、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。マナーモード中は、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

1 **[#]（1秒以上）**

マナーモード中は待受画面にが表示されます。

マナーモードの解除：[#]（1秒以上）

Point

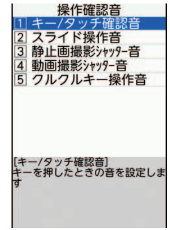
- マナーモード中でも、撮影時のカウントダウン音やシャッター音は鳴ります。

キー／タッチ確認音を消す

キーを押したり、らくがき盛りフォトでタッチ操作をしたりしたときに鳴る音を消します。

1 **[MENU]▶[8]設定／NWサービス▶[1]音／バイブ▶[1]音設定▶[5]操作確認音**

キー／タッチ確認音のほかにも、スライド操作音やクルクルキー操作音を消したり、シャッター音を変更したりすることができます。



〈操作確認音設定画面〉

2 **[1]キー／タッチ確認音▶[5]OFF**

キー／タッチ確認音を解除する旨のメッセージが表示された後、右の画面に戻ります。

音を選ぶときは「[1]キー／タッチ音1」～「[4]ドレミ」の中から選択します。

Information

- 着信やアラームごとにマナーモード中の動作を設定することができます。【オリジナルマナーモード】

ディスプレイの設定

待受画面選択

お買い上げ時の待受画面は変更することができます。

〈例〉お買い上げ時に登録されている画像を待受画面に設定

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶1待受画面設定▶1待受画面選択▶1イメージ設定**
きせかえツールが設定されているときには、解除確認画面が表示されます。

2 **「はい」▶6プリインストール▶画像を選択▶「はい」**

表示メニュー設定

待受画面でMENUを押したときに表示されるメニューのタイプを設定します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶2メニュー設定▶1表示メニュー設定▶1きせかえメニュー～3セレクトメニュー**

文字サイズ設定

iモードサイトやメール作成画面、電話帳などの文字のサイズを変更することができます。

〈例〉一括して文字サイズを変更

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶6文字表示設定▶1文字サイズ設定▶1全体▶1極小～7極大**
選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズも変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を押すと、選択した文字サイズに適したきせかえツールを選択できます。

Point

- 一括して文字サイズを変更するときに、選択した文字サイズに対応していない項目は、もっとも近い文字サイズに設定されます。

Information

- 待受画面の時計の表示／非表示を設定したり、デザインなどを変更したりできます。【時計表示設定】
- 待受画面をいくつかのエリアに分割して、それぞれのエリアに新着情報やスケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容、歩数・活動量情報を表示するように設定できます。【待受画面設定▷カレンダー／待受カスタマイズ】
- プライバシービューでは見えにくさのレベルを設定することができます。【プライバシービュー▷レベル設定】

プライバシービュー

ディスプレイの表示を周囲の人から見えにくくします。待受画面以外の画面を表示中でも、起動／解除ができます。

1 **MULTI（1秒以上）or** ⚿**（1秒以上）**

プライバシービューの解除： MULTI（1秒以上）or ⚿（1秒以上）

マチキャラ設定

待受画面に表示されるキャラクタを設定します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶7マチキャラ設定▶各項目を設定▶📷［登録］**

Point

- 待受画面に動画／iモーションやiアプリが設定されているときには、マチキャラは表示されません。
- 設定を行なったときの確認メッセージをマチキャラ独自の話しかたで表現したり、FOMA端末の状態や入力文字の内容に合わせてメッセージを表示したりするフレンドリーメッセージ対応のマチキャラも利用できます。
  お買い上げ時に登録されている「ドロンジョ様」「バカボンのパパ」がフレンドリーメッセージに対応しています。

照明点灯時間設定

ディスプレイを明るく点灯させる時間を設定します。

〈例〉「通常時」を設定

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶4照明／キーバックライト設定▶1照明点灯時間設定**

2 **1通常時▶10秒～7常時点灯**

Point

- 操作2で「通常時」以外を選択して「端末設定に従う」にすると、「通常時」で設定した点灯時間に従います。

Information

- ディスプレイの照明の明るさ調整や、ディスプレイの表示を消すまでの時間設定ができます。キーバックライトをON／OFFしたり、点灯色を選んだりすることができます。【照明／キーバックライト設定▷明るさ調整｜画面オフ時間設定｜キーバックライト設定】

ランプの設定

電話やメールの着信時、不在着信などをランプで知らせるよう設定します。

イルミネーション設定

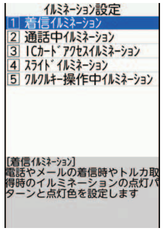
電話やメールの着信時や通話中などのランプの点灯パターンと色を設定します。

〈例〉着信時のイルミネーションを設定

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 5 イルミネーション設定

着信時のほかにも、通話中やFOMA端末をスライドしたときなどのイルミネーションの設定ができます。

2 1 着信イルミネーション ▶ 各項目を設定 ▶ [📷]［登録］



〈イルミネーション設定画面〉

不在着信お知らせ

不在着信や未読メール（ｉモードメール、SMS）があることをランプで知らせます。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 3 各種画面設定 ▶ 5 着信表示設定 ▶ 2 不在着信お知らせ ▶ 1 ON or 2 OFF

Point

- ランプは約10秒間隔で点滅しますが、新着情報を確認せずにFOMA端末の電源を入れ直した場合などは、約30分間隔で点滅します。

きせかえツール

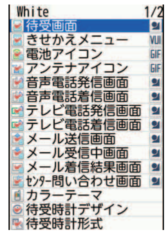
待受画像、メニュー、発着信画像などをコーディネイトされた組み合わせで一括して設定します。

〈例〉お買い上げ時に登録されているきせかえツールを設定

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 7 きせかえツール ▶ 2 プリインストール ▶ きせかえツールにカーソル ▶ [📷]［設定］

きせかえツールにカーソルを合わせて[✉]を押すと、きせかえツールの詳細内容が表示できます。

また、きせかえツールにカーソルを合わせて◉を押すと、待受画面とメニュー画面のイメージを拡大表示できます。



〈詳細内容表示画面〉



〈コーディネイトのイメージ拡大画面〉

2 「はい」

Information

- 指定した時刻に待受画面を切り替えたり、マナーモードやプライバシーモードを起動したりするように設定します。【🔍ライフスタイル設定】

ecoモード

一時的にディスプレイの照明や音などを調整して、電池の消費を抑えます。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 8 ecoモード設定 ▶ 1 ecoモードON／OFF**

選択するたびにON／OFFが切り替わります。
ONにすると、ディスプレイにが表示されます。

ecoモード動作設定

ecoモードにしたときの動作を設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 8 ecoモード設定 ▶ 2 ecoモード動作設定 ▶ 1 標準省電力 or 2 フル省電力**

標準省電力：操作確認音や画面の明るさ、キーバックライト、イルミネーションの点灯などを調整して、電池の消費を抑える

フル省電力：標準省電力に加え、モーションセンサー設定やマチキャラ設定、画面オフロックの置き忘れセンサー、ウォーキング／Exカウンターの機能などの使用を制限して、電池の消費を抑える

FOMA端末の暗証番号

機能によって異なる暗証番号を使います。暗証番号は個人情報を守る、大切なものです。取り扱いには十分ご注意ください。

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。万が一他人に知られ悪用された場合でも、その損害について当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

端末暗証番号 （お買い上げ時：0000）

設定変更時やデータの全件削除時に、端末の使用者がその機能を使うことを了解するために使う番号です。次の操作で変更できます。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 6 端末暗証番号変更 ▶ 認証操作 ▶ 新しい端末暗証番号を入力 ▶ 新しい端末暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力 ▶ 📷［登録］

Point

- 端末暗証番号入力画面で誤った番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

PIN1コード／PIN2コード （ご契約時：0000）

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

PIN1コードは、ドコモUIMカードを取り付けたり、FOMA端末の電源を入れたりする際、使用者確認のために使います。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使います。

いずれも次の操作で変更できます。PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 5 UIMカード（FOMAカード）設定 ▶ 1 PIN1コード変更 or 2 PIN2コード変更 ▶ 認証操作 ▶ 現在のPINコードを入力 ▶ 新しいPINコード欄と新しいPINコード（確認）欄に新しいPINコードを入力 ▶ 📷［登録］

Point

- 電源を入れたときにPIN1コード入力画面を表示させるようにするには、MENU ▶ 8 4 5 3 1 でPIN1コードON/OFFを「ON」にします。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの場合には、それらの操作はできなくなります。
- PIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えてロックされたときには、契約時に通知されたPINロック解除コードを入力します。PINロック解除コードの入力を連続10回間違えてドコモUIMカードがロックされた場合には、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

✤ ネットワーク暗証番号 （ご契約時：任意の番号を設定）

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」で、契約者本人の確認やネットワークサービスご利用時などに必要となる番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」⇒「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

✤ ｉモードパスワード （ご契約時：0000）

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスの申し込み／解約などの際に必要な番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」⇒「ｉモードパスワード変更」からお客様ご自身で変更ができます。

✤ microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の携帯電話に取り付けて使用する場合は、その携帯電話側にもパスワードの設定が必要になります。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話では、microSDカード内のデータを利用したり、初期化したりすることができません。ただし、microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

✤ パスワード（子供用） （お買い上げ時：1111）

親子モード中に、子供用のパスワードとして使用する暗証番号です。パスワード入力が必要なときは、端末暗証番号入力をしても認証されます。
親子モード⇒P35

各種ロック機能

FOMA端末にはさまざまなロック機能が備えられています。目的に応じて使い分けてください。

オールロック

電話の応答、メールの受信、電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。
起動： MENU ▶ 8 4 1 3 ▶ 認証操作
解除： 端末暗証番号を入力

セルフモード設定

通信を伴うすべての機能が使えなくなります。
起動／解除： CLR（1秒以上）▶「はい」

パーソナルデータロック

電話帳やメール、スケジュールなどの個人情報が表示されないようにします。
起動／解除： MENU ▶ 8 4 1 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できなくなります。
起動／解除： MENU ▶ 8 4 1 6 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

誤操作防止ロック

FOMA端末を閉じているときに、ディスプレイの表示を消して（画面オフ）キー操作をロックします。ただし、[?]を押す操作、[▮]を1秒以上押す操作はできます。
通話中でFOMA端末を閉じているときに[?]を押すと、ディスプレイの表示が消え（画面オフ）、[◎]や[▮]を押す操作、[◎]を1秒以上押す操作、クルクルキーの回転操作のみロックされます。

起動／解除：[?]（キー操作以外にも、画面オフの状態になると起動）

画面オフロック

ディスプレイが画面オフの状態になってから、操作をせずに設定時間を過ぎると、キー操作をロックします。

設定：[MENU]▶[8][4][1][2]▶認証操作▶各項目を設定▶[📷]
一時解除：画面オフの状態で[?]▶認証操作

ICカードロック

おサイフケータイや読み取り機からのトルカ取得、iC通信などが使えなくなります。

起動：[◎]（1秒以上）▶「はい」
解除：[◎]（1秒以上）▶認証操作

プライバシーモード

個人情報利用時の動作を設定します。

- 操作方法は本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」でご確認ください。

おまかせロック

FOMA端末紛失時などにドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけます。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間（年中無休）
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末内の端末データをドコモのお預かりセンターにバックアップして、紛失時や誤って削除した際などにそのデータを復元できるサービスです。

Point

- 海外でケータイデータお預かりサービスをご利用の際は、パケット通信料が日本国内より高額になる恐れがあります。ご注意ください。（ｉモードパケット定額サービスの対象外となります。）
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

電話の着信制限

電話の着信を制限するさまざまな方法があります。

電話番号ごとの着信許可／拒否

電話帳ごとの設定をした後、着信許可／拒否設定（メモリ別着信拒否／許可）を有効にする必要があります。
本機能を利用するときには、番号通知お願いサービスおよび発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

1 ◎▶電話帳検索▶設定する電話帳にカーソル▶MENU▶3編集／設定▶4詳細設定▶3着信許可／拒否設定▶認証操作▶電話番号を選択▶1着信許可～3設定なし

2 続けて待受画面でMENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶5メモリ着信拒否／許可▶1メモリ別着信拒否／許可▶認証操作▶1設定解除～3許可設定

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない理由ごとに着信動作を設定します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶2発番号なし動作設定▶認証操作▶1非通知設定～3通知不可能▶各項目を設定▶📷［登録］

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないようにすることで、「ワン切り」などの迷惑電話対策になります。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶5呼出動作開始時間設定▶各項目を設定▶📷［登録］

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない相手からの着信を拒否します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶5発着信・通話機能▶5メモリ着信拒否／許可▶2メモリ登録外着信拒否▶認証操作▶1ON or 2OFF

お買い上げ時の状態に戻す

各種設定リセット

メニュー一覧に赤色の文字で書かれている機能をお買い上げ時の状態に戻します。⇒P77

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 5 情報表示／リセット ▶ 5 各種設定リセット ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ 📷［リセット］▶「はい」

データ一括削除

FOMA端末の保存データを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 5 情報表示／リセット ▶ 6 データ一括削除 ▶ 認証操作 ▶「はい」

再起動中にデータが削除されます。待受画面が再表示されるまで電源を切らないでください。

Point

- データ一括削除をしても、お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- ICカード内にデータが保存されていないおサイフケータイ対応ｉアプリのうち「iD 設定アプリ」はデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、それ以外は削除されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリ以外のｉアプリはデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、以前にバージョンアップしているとｉアプリ自体が削除されます。

親子モード

使える機能を制限することで、安心して本FOMA端末をお子さまにご利用いただくことができます。

親子モード設定

親子モードを利用するかどうかを設定します。
親子モードを「ON」にすると、PINコード設定のメニュー操作が制限されます。PIN1コードの入力を利用しないときは、あらかじめPIN1コードON／OFFを「OFF」に設定してください。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 3 親子モード ▶ 認証操作 ▶ 1 親子モード設定 ▶ 1 ON or 2 OFF

「ON」にするとディスプレイ上部に☺が表示されます。

パスワード（子供用）変更

親子モード設定を「ON」に設定してから操作してください。
端末暗証番号と同じ番号はパスワードに設定できません。

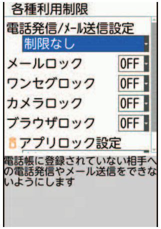
1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 6 端末暗証番号変更 ▶ 認証操作 ▶ 新しいパスワードを入力 ▶ 新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力 ▶ 📷［登録］

各種利用制限

電話発信、メール、ワンセグ、カメラ（らくがき盛りフォトの撮影を含む）、ｉモード／フルブラウザ、ｉアプリの利用などを制限することができます。
親子モード設定を「ON」に設定してから操作してください。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 3 親子モード ▶ 認証操作 ▶ 2 各種利用制限**

右の画面が表示されます。



〈各種利用制限画面〉

2 **各項目を設定**

電話発信／メール送信設定：「電話帳登録相手のみ」にすると、電話帳に登録した相手にのみ電話発信やメール送信ができます。

ｉアプリロック設定：「登録アプリのみ許可」にすると、ｉアプリのダウンロードができず、FOMA端末内のｉアプリ以外は利用できなくなります。

3 **[📷]［登録］**

Point

- メールロックを「ON」に設定しても、送られてきたメールは自動受信します。このとき、音や画面による着信動作や新着情報表示は行われません。

電話／テレビ電話をかける



電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモの電話番号を選択したり、電話帳を利用して発信します。

電話番号を入力

同じ市内にかけるときでも必ず市外局番からダイヤルしてください。

1 **電話番号を入力（80桁以内）▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）▶通話が終わったら[終話]**

リダイヤル／着信履歴を利用

リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 **[リダイヤル]（リダイヤル）or [着信履歴]（着信履歴）**

2 **相手にカーソル▶[発信]（音声電話）or [iα]（テレビ電話）**

一覧で相手にカーソルを合わせて[決定]を押すと、詳細画面が表示されます。

Point

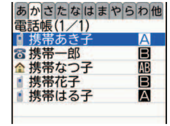
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

電話帳を利用

1 **[電話帳]▶電話帳検索**

お買い上げ時には、全件表示（50音）の検索結果が表示されるように設定されています。

[上下]で行を、[メール]、[iα]でページを切り替えできます。



〈電話帳検索結果画面〉

2 **相手にカーソル▶[発信]**

テレビ電話をかけるには、相手にカーソルを合わせて次の操作を行います。

全件表示（50音）から：[MENU]▶[1][1]▶発信方法欄を選択▶[2]▶[カメラ]

その他の検索方法から：[iα]

Point

- 電話帳に電話番号を登録していると、メールなどの各種履歴からも発信できます。
- 電話帳にメールアドレスを登録していると、電話帳一覧からｉモードメールを作成できます。

全件表示（50音）からｉモードメールを作成：[電話帳]▶電話帳検索▶相手にカーソル▶[カメラ]

その他の検索方法からｉモードメールを作成：[電話帳]▶電話帳検索▶相手にカーソル▶[メール]

国際電話

WORLD CALLを利用して、日本国内から国際電話をかけることができます。

✤ WORLD CALL

ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、「WORLD CALL」もご契約いただいています（不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
- 「WORLD CALL」の料金の請求方法や利用可能な料金プランなど、詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったりする場合があります。

1 「010」を入力▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶[通話]

イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

発信者番号通知設定 （ご契約時：通知する）

電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

1 [MENU]▶[8]設定／NWサービス▶[8]NWサービス▶[4]番号通知▶[1]発信者番号通知▶[1]発信者番号通知設定▶[1]通知する

通知しないときには「[2]通知しない」を選択します。

Point

- 発信者番号はお客様の大切な個人情報です。通知する際には、十分にご注意ください。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

Information

- 国際アクセス番号の自動変換や、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかどうかを設定できます。また、国際アクセス番号や国番号を登録／編集することができます。【国際ダイヤルアシスト設定】
- 発信ごとに発信者番号を通知したり、非通知にしたりすることができます。【発信者番号通知／非通知▷186/184】
- 電話をかけるたびに、発信時の条件を設定して電話をかけることができます。【発信オプション】

電話

電話／テレビ電話を受ける

基本的な着信動作を説明します。

1 着信

音やランプ、ディスプレイの表示などで着信をお知らせします。ディスプレイには、電話番号が通知されたときには電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときには名前が表示されます。また、電話番号が通知されなかったときには、その理由（非通知設定、公衆電話、通知不可能）が表示されます。

［音量キー］：着信音量の調整

［メモキー］：着信音、バイブレータの動作停止

2 ［発話キー］（音声電話／テレビ電話）or ［テレビ電話キー］（テレビ電話）

3 通話が終わったら［終話キー］

Point

- 電話に出られなかったときには、待受画面に［不在着信アイコン 2］（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。
- ［発話キー］または［テレビ電話キー］の代わりに［メールキー］を押すと、代替画像でテレビ電話を受けます。

Information

- 音声電話着信時に［発話キー］以外のキーを押して電話に出られるように設定することができます。【エニーキーアンサー設定】
- 条件を設定して電話の着信を制限するさまざまな方法があります。⇒P34
- 音声電話着信時にFOMA端末を開いて電話に出られるように設定することができます。【着信中オープン応答】

電話

通話中の操作

通話中に操作できる便利な機能です。

通話中保留

保留中はメロディが流れます。テレビ電話のときは自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

1 通話中に［決定キー］［保留］

Point

音声電話の保留解除：［決定キー］ or ［発話キー］
テレビ電話の保留解除（保留前の画像を送信）：［決定キー］
テレビ電話の保留解除（カメラ映像を送信）：［テレビ電話キー］／［発話キー］
テレビ電話の保留解除（代替画像を送信）：［メールキー］

受話音量

通話中に受話音量を調整します。

1 通話中に［音量キー］

Point

- 音量設定の受話音量に反映されます。

Information

- 相手の声の大きさや周りの騒音に応じて、相手の声を聞き取りやすく調節したり【はっきりボイス】、相手の声のスピードを遅くしたり【ゆっくりボイス】できます。
- 通話中に［メモキー］を1秒以上押すと、通話中の相手の声や画像を録音／録画することができます。【通話中音声メモ／動画メモ】

電話／テレビ電話に出られないとき

電話に出られない状況や場所に合わせて、利用する機能を使い分けましょう。

伝言メモ

伝言メモを「ON」にしておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

1 **MENU▶4電話帳／履歴▶7伝言メモ／音声メモ▶1伝言メモ設定▶1ON**

待受画面にが表示されます。

Point

- 音声電話／テレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画することができます。最大件数に達すると、待受画面にが表示され、伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。
- 伝言メモを「ON」にしていなくても、着信中にを1秒以上押すと、その着信に限り1回だけ用件を録音／録画することができます。
- 応答ガイダンスが流れているときや伝言メモ録音中／録画中でも、を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合はで自分側の映像が、で代替画像が送信されます。ただし、電話に出るまでに録音／録画された内容は記録されません。

伝言メモを再生する：MENU▶472▶メモを選択▶削除するかを選択

公共モード

公共性の高い場所にいることや運転中であることを相手に伝える、自動応答サービスです。

公共モード（ドライブモード）

着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 **（1秒以上）**

待受画面にが表示されます。

Point

- 公共モード（ドライブモード）中は着信動作をせずに、不在着信として記録されます。

解除する：（1秒以上）

公共モード（電源OFF）

電源切断中に着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 **「＊25251」を入力▶**

公共モード（電源OFF）を設定しても、画面上にアイコンなどは表示されません。

Point

解除する：「＊25250」を入力▶

設定を確認する：「＊25259」を入力▶

Information

- すぐに電話に出られないときは、着信中にを押すと応答保留にできます。応答保留にすると相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。【応答保留】

ネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
メロディコール	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスは利用できません。
- お申し込み、詳しいサービス内容については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。

ネットワークサービスの設定

代表的なネットワークサービスの操作方法を説明します。

サービス名	操作方法
留守番電話サービス	MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 8 NWサービス ▶ 1 留守番電話 ▶ 1 留守番電話サービス ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」▶「はい」▶ 呼出時間を入力 停止：3 ▶「はい」 再生：5 ▶ 1 or 2 ▶「はい」▶ ガイダンスに従って操作
キャッチホン	MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 8 NWサービス ▶ 2 キャッチホン／転送でんわ ▶ 1 キャッチホン ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」 停止：2 ▶「はい」
転送でんわサービス	MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 8 NWサービス ▶ 2 キャッチホン／転送でんわ ▶ 2 転送でんわ ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」▶「はい」▶ 電話番号を入力 ▶ [カメラキー] ▶「はい」▶ 呼出時間を入力 停止：2 ▶「はい」

Point

- 留守番電話サービスと転送でんわサービスは、呼出時間を「0秒」にすると着信履歴に記録されません。
- キャッチホン開始後に、音声通話中に別の音声電話を着信したときは [通話キー] で応答します。保留相手がいるときは、[iαキー] で通話相手を切り替えられます。

緊急通報

本FOMA端末から次の緊急通報に発信できます。

警察への通報	（局番なし）110
消防・救急への通報	（局番なし）119
海上での通報	（局番なし）118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しています。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のとき、FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

海外利用

海外でもFOMA端末で通話したり、ｉモードが利用できたりします。

✜ 国際ローミング（WORLD WING）

海外でも、ドコモと提携している通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。ご利用の際にはWORLD WINGのお申込状況をご確認ください。詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 3Gネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用可能です。利用可能なエリアを確認してください。
- 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - データBOXのマイドキュメントにプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。待受画面には利用中のネットワークを示すマークと接続している通信事業者名が表示されます。

ー：利用不可

通信サービス	ネットワーク		
	3G	GPRS	GSM
		ー	ー
音声電話	○	ー	ー
テレビ電話	○	ー	ー
ｉモード※1	○	ー	ー
ｉモードメール	○	ー	ー
SMS※2	○	ー	ー
ｉチャネル※1、3	○	ー	ー
ｉコンシェル※4	○	ー	ー
ｉウィジェット※5	○	ー	ー
パケット通信（パソコン接続）	○	ー	ー

※1　ｉモード海外利用設定が必要です。

※2　宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。

※3　ｉチャネル海外利用設定が必要です。ベーシックチャネルの自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。

※4　ｉコンシェルの海外利用設定が必要です。インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。

※5 iウィジェットローミング設定が必要です。複数のウィジェットアプリが通信した場合、1通信ごとにパケット通信料がかかります。

滞在国で電話をかける

電話帳のメモリ番号を利用して、簡単な操作で電話を発信できます（クイックダイヤル）。海外で2桁以内の番号を入力して発信した場合は、「クイックダイヤル」または「通常発信」を選択する画面が表示されます。「通常発信」を選択するとそのままの番号に発信されます（海外での緊急通報時に利用）。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 **[0]（1秒以上）**

「+」が入力されます。

2 **国番号（日本の場合は「81」）▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）**

イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

1 **電話番号を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）▶「元の番号で発信」**

メッセージが表示されずに発信される場合もあります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

1 **[0]（1秒以上）▶「81」を入力▶先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）**

Point

- 同じ滞在国にいる相手にかけても日本からの国際転送となるので、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

滞在国で電話を受ける

1 **電話がかかってくる▶[発信]（音声電話）or [iα]（テレビ電話）**

Point

- いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となり、発信者には日本までの通話料、着信者には着信料がかかります。

帰国後の設定

FOMA端末の電源を入れると、自動的にFOMAネットワークに接続されます。自動的に接続されない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に設定してください。

ｉモードメール送信／SMS送信

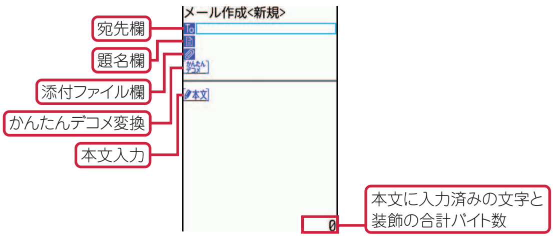
ｉモードメール送信

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間だけでなく、インターネット経由でe-mailのやりとりができます。

- ｉモードメールの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 **[✉]▶[✉]［作成］**

次の画面が表示されます。



〈メール作成画面〉

2 **宛先、題名、本文を入力▶[📷]［送信］**

送信に成功したメールは、自動的に送信メールのフォルダに保存されます。

Point

宛先を追加（同報送信）：メール作成画面で宛先欄にカーソル▶[iα]

ファイルの添付

最大10件、合計2Mバイトまでの画像や音声、動画／ｉモーションなどを添付することができます。

1 **メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付するファイルを選択▶メールを編集▶[📷]［送信］**

Point

- 大きなサイズのファイルを添付すると、送信までに時間がかかります。また、送信後に送信メールのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

添付ファイルの変更：メール作成画面で添付ファイル名にカーソル▶[✉]▶添付するファイルを選択

添付ファイルの解除：メール作成画面で添付ファイル名にカーソル▶[iα]▶「はい」

SMS送信

メールアドレスのわからない相手に、携帯電話番号を宛先にして文字でメッセージを送信することができます。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 **[✉]▶[7]SMS／エリアメール設定▶[1]SMS▶[1]SMS作成▶宛先、本文を入力▶[📷]［送信］**

Point

- SMSにファイルを添付することはできません。
- SMSを受信すると、ｉモードメールの受信と同様に動作します（⇒P47）。

デコメール®／デコメアニメ®

装飾（デコレーション）や画像を利用して、楽しいメールを作成できます。

デコメール®

文字サイズや背景色の変更、静止画やデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入ができます。装飾を指定してから文字を入力する方法と、文字を入力してから装飾を指定する方法があります。

〈例〉装飾を指定してから文字を入力

1 メール作成画面で「本文」▶[iα]［デコレーション］

2 装飾アイコンを選択▶装飾操作

装飾の種類は次のとおりです。

	画像挿入		文字色変更		文字サイズ変更
	背景色変更		点滅		テロップ
	スウィング		文字位置		ライン挿入

3 メールを編集▶[カメラ]［送信］

Point

- 本文入力後にメール作成画面で「かんたんデコメ」を選択すると、文章の内容に合わせて自動的に装飾が施されます。[カメラ]を押すと、次々にデコメ®の候補が表示されます。
- 本文入力画面で[MENU]▶[0]を押すと、装飾結果を確認（プレビュー）できます。プレビュー画面の右下には入力できる残りのバイト数が表示されます。画面を戻すには、◉を押します。

デコメアニメ®

メッセージや画像を挿入したFlash画像を使って表現力豊かなメールを作成できます。

1 [メール]▶[3]新規デコメアニメ

2 「編集」▶テンプレートにカーソル

◉を押すと、プレビュー表示できます。

3 [カメラ]［読込み］

4 テキストや画像を編集

テンプレートの変更：[MENU]▶[1]デコメアニメテンプレート▶「はい」▶テンプレートにカーソル▶[カメラ]



〈デコメアニメテンプレート一覧画面〉

5 [カメラ]［完了］▶メールを編集▶[カメラ]［送信］

Point

- デコメアニメ®編集画面やテンプレートを読み込んだ後は、デコメアニメ®本文欄にカーソルを合わせて[iα]を押すと、プレビューできます。画面を戻すには、[iα]を押します。

Information

- お買い上げ時に登録されているテンプレートを利用すると、簡単にデコメール®やデコメアニメ®が作成できます。【メールテンプレート】

つながる

ｉモードメール受信

メールは特別な操作や設定をしなくても受信します（メール自動受信）。

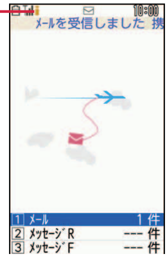
1 ｉモードメールを受信

右の画面が表示されます。

2 [1]メール▶メールを選択

同時に複数のメールを受信したときやメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けたときにはフォルダ一覧が表示されます。

点滅



〈受信結果画面〉

Point

メールBOX内のメールを見る：[✉]▶[1] or [4] or [5]▶フォルダを選択▶メールを選択

ｉモード問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。

1 [✉]（1秒以上）

返信

1 受信メールの一覧画面でメールにカーソル▶[📷]［返信］▶[1]本文直接入力～[6]OK▶メールを編集▶[📷]［送信］

メール自動振り分け設定

送受信メールをフォルダに自動的に振り分けて保存することができます。

1 [✉]▶[9]メール設定▶[2]メール振り分け設定▶[1]自動振り分け設定▶各項目を「ON」▶[📷]［登録］

2 [2]受信振り分け条件 or [3]送信振り分け条件▶[📷]［追加］▶振り分け条件を設定▶振り分け先フォルダを選択▶優先順位を選択

Information

- 受信／送信／未送信メールのそれぞれのBOX内にフォルダを追加することができます。追加したフォルダには任意の名前をつけることができます。【ｉモードメール ▷ フォルダ作成／削除】
- ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認して、受信するメールを指定したり、受信せずに削除したりすることができます。【メール選択受信】

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。ｉモード契約は不要です。

エリアメール受信

エリアメールを受信すると✉が点灯し、ランプの点滅や専用のブザー警報音、バイブレータの振動などで受信をお知らせします。

Point

- 通話中やおまかせロック中などは受信できません。

受信設定

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 **[✉]▶[7]SMS／エリアメール設定▶[2]エリアメール設定▶[1]受信設定▶「ご注意」を確認▶利用するかどうかの欄を選択▶[1]利用する or [2]利用しない▶[📷]［登録］**

Information

- ブザー鳴動時間の設定や、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中の鳴動方法の設定ができます。【🔍緊急速報「エリアメール」▷設定】

電話帳登録

電話帳にはFOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳の2種類があります。FOMA端末電話帳の登録方法を説明します。

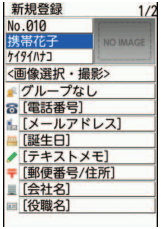
1 **◎（1秒以上）▶名前を入力**

右の画面が表示されます。

2 **各項目を設定**

右の画面に表示されている項目のほかにも「URL」が登録できます。

3 **[📷]［登録］**



〈電話帳の新規登録画面〉

Point

ドコモUIMカード電話帳の登録：[MENU]▶[4][4]▶名前を入力▶各項目を設定▶[📷]

リダイヤル／着信履歴からの電話帳登録

1 **◎（リダイヤル）or ◎（着信履歴）▶相手にカーソル▶[MENU]▶[5]登録▶[1]電話帳新規登録 or [2]電話帳更新登録▶[1]本体 or [2]ドコモUIMカード（FOMAカード）**

更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

2 **各項目を設定▶[📷]［登録］**

Point

電話帳の検索：[MENU]▶[4][1]▶[1]～[7]
電話帳の修正：◎▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]▶[3][1]▶項目を選択して修正▶[📷]▶「上書き登録」or「新規登録」
電話帳の削除：◎▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]▶[4]▶[1] or [2]（▶全件削除では認証操作）▶「はい」

ｉモードサイト／ホームページの表示



ｉモードでは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのサービスを利用できます。また、フルブラウザを利用して、パソコン向けのホームページを表示することもできます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってはサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。
- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスを契約されることをおすすめします。

ｉモードサイトの表示

1 **[iα]▶表示する項目を選択**

ｉモード中はディスプレイ上部にｉが点滅します。



2 **サイトを見終わったら[終話]▶「はい」**

パソコン向けホームページの表示

1 **[MENU]▶[2]ｉモード▶[＊]フルブラウザホーム**

お買い上げ時の状態では、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **ホームページを見終わったら[終話]▶「はい」**

ブラウザの切り替え

ｉモードからフルブラウザへ：サイト表示中に[MENU]▶[5][2]

フルブラウザからｉモードへ：ホームページ表示中に[MENU]▶[7][2]

Information

- ｉモードとフルブラウザの動作は、ｉモード設定で変更します。【ｉモード／フルブラウザ ▷ ｉモード設定】

便利な機能

URL入力

1 **MENU ▶ 2 ｉモード ▶ 5 URL入力 ▶ 1 URL入力 ▶ URLを入力（半角2048文字以内）▶ ブラウザ種別欄で 1 ｉモードブラウザ or 2 フルブラウザ ▶ 📷［接続］**

フルブラウザを選択すると、フルブラウザで接続するかどうかの確認画面が表示されます。「はい（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

Bookmark

一度見たサイトやホームページを登録しておき、すばやく表示します。

登録： サイトやホームページ表示中に MENU ▶ 1 2 ▶ タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶ 📷 ▶ 登録先フォルダを選択

表示： MENU ▶ 2 2 ▶ フォルダを選択 ▶ Bookmarkを選択

画面メモ

表示中のサイトやホームページの内容を、画面メモやキャプチャとして保存します。

登録： サイトやホームページ表示中に MENU ▶ 2 2 ▶「はい」

表示： MENU ▶ 2 3 ▶ 画面メモを選択

Point

- 画面メモでキャプチャのみを保存するには、登録時の操作の最後で「表示のみ保存」を選択します。
- サイトやホームページ側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは画面メモが登録できないことがあります。

RSSリーダー

RSSリーダーにRSSを登録すると、ホームページの最新情報を取得できます。

登録： ホームページ表示中に MENU ▶ 0 2 ▶ RSSを選択 ▶「はい」

表示： MENU ▶ 2 9 ▶ チャンネルを選択 ▶ アイテムを選択

リンク機能の利用

リンク項目から、電話発信やメール送信などを行います。ただし、サイトやホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

1 **サイトやホームページを表示 ▶ リンク項目にカーソル ▶ ◉［選択］**

選択した項目の種類によって、下記の操作ができます。

電話番号（Phone To（AV Phone To））： 条件を設定して電話をかけます。

メールアドレス（Mail To）： 選択したメールアドレスを宛先としてｉモードメールを作成し、送信します。

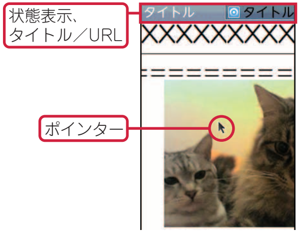
電話番号（SMS To）： 選択した電話番号を宛先としてSMSを作成し、送信します。

URL（Web To）： サイトやホームページに接続されます。

ワンセグ視聴情報（Media To）： ワンセグ視聴や視聴／録画予約ができます。

画面の見かたと操作

サイトやホームページ表示中は、パソコンでインターネットを閲覧する場合と同じようにできる操作があります。



〈ブラウザ画面〉

上下スクロール※**：**◎

上下連続スクロール※**：**◎（1秒以上）

※ フルブラウザで表示モード設定がPCレイアウトモード時、◎／◎（1秒以上）は左右スクロール／左右連続スクロールになります。

タブを閉じる／ブラウザの終了：CLR ▶「はい」

ノーマル／スクロールモード切り替え：✏

- **ノーマルモード時**
  ページの移動：✉［戻る］／iα［進む］
  表示履歴：✉［戻る］（1秒以上）／iα［進む］（1秒以上）
- **スクロールモード時**
  上下スクロール：✉［▲］／iα［▼］
  上下連続スクロール：✉［▲］（1秒以上）／iα［▼］（1秒以上）

ブラウザ画面からのメニュー操作

サイトやホームページ表示中は、MENUや📷を押してさまざまな操作ができます。

できること	操作
以前表示したページに再接続（ラストURL）	MENU ▶ 3 ▶ URLを選択
ｉMenuまたはフルブラウザホームに接続	MENU ▶ 4
情報の再読み込み	MENU ▶ 6※1 or 5※2
URL表示	MENU ▶ 7※1 or 6※2 ▶ 3
ポインターの表示／非表示	MENU ▶ 8 5 ▶ 1 or 2
ガイド表示領域の表示／非表示	MENU ▶ 8 8
URLをｉモードメールで送信	MENU ▶ 9 ▶ 1 or 2
タブを新しく開く／閉じる／切り替え	📷 ▶ 1 ▶ 1～3
ページ移動、ズーム※2、ドラッグ、テキスト範囲選択／貼付など	📷 ▶ 2 ▶ 1～9※1 or 1～0※2
文字サイズの変更	📷 ▶ 3 ▶ 文字サイズを選択
文字列の検索	📷 ▶ 4 ▶ 検索文字列の入力欄に文字を入力（全角25（半角50）文字以内）▶ 📷
表示履歴／タブ一覧の表示	📷 ▶ 5
PagePilot画面（ページ全体）の表示	📷 ▶ 6
電話帳登録	電話番号やメールアドレスにカーソル ▶ 📷 ▶ 8 ▶ 1 or 2
画像保存	📷 ▶ 9 ▶ 1～5

※1　ｉモードの場合
※2　フルブラウザの場合

しらべる

ｉチャネルの利用

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動受信した情報が待受画面にテロップ表示され、CLRを押すとチャネル一覧に表示されます。ｉチャネルには下記の2種類があります。

●ベーシックチャネル

ドコモが提供するチャネルで、情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。

●おこのみチャネル

IP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。

ベーシックチャネル、おこのみチャネルともに詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧ともに、国内の料金とは異なるパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約が必要です。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

テロップ表示されている情報の詳細を表示するには次の操作を行います。

1 待受画面でCLR▶チャネルを選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。



Point

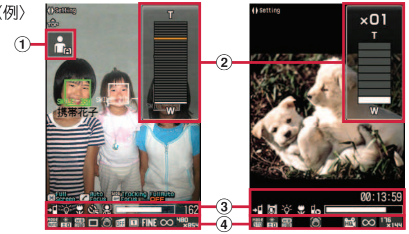
- ｉチャネルの詳細情報表示中の操作は、ｉモードサイトやホームページ表示中の操作と同じです。⇒P51

Information

- ｉチャネルのテロップの表示方法を変更することができます。【ｉチャネル▷ｉチャネル設定】

撮影画面の見かた

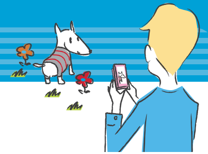
〈例〉



〈静止画撮影画面〉　〈動画撮影画面〉

① 自動シーン認識アイコン	② ズーム比率 • [方向キー]で調整パネルが表示され、拡大／縮小できます。
③ [保存先アイコン]：保存先　[撮影種別アイコン]：撮影種別 [ライトアイコン]：ライト [接写アイコン]：接写撮影 [セルフタイマーアイコン]：セルフタイマー [顔検出アイコン]：顔検出・スマイルファインダー [共通再生モードアイコン]：共通再生モードインジケータ、カウンタ	④ MODE AUTO：シーン・効果 ±0：明るさ WB AUTO：ホワイトバランス [フレームアイコン]：フレーム [手ぶれ補正アイコン]：手ぶれ補正 OFF：歪み補正 [連続アイコン]：連続／パノラマ撮影 FINE：画質　HQ：品質 ∞：サイズ制限 480×854：画像サイズ • 撮影画面で[方向キー]を押して設定を変更できます。

静止画／動画の撮影



FOMA端末のカメラで静止画や動画を撮影します。

静止画撮影

1 [カメラ] or [サイド]（1秒以上）

2 カメラを被写体に向けて● ［撮影］ or [サイド]

3 ● ［保存］ or [サイド]

動画撮影

1 [MENU] ▶ 6 LifeKit ▶ 4 カメラ ▶ 2 動画撮影

2 カメラを被写体に向けて● ［撮影］ or [サイド]

3 撮影を終了したいときに● ［停止］ or [サイド]

4 ● ［保存］ or [サイド]

Point

• 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置すると、撮影する画像が劣化することがあります。
• 撮影待機中に約3分間操作をしないと、カメラは終了します。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：撮影画面で[メール]

さまざまな方法での静止画撮影

静止画撮影画面が表示されているときには、サブメニューから撮影方法を変更することができます。
ここでは、代表的な撮影方法を紹介します。

撮影方法	効果と操作方法
シーン・効果	カメラ起動時は被写体を認識して最適なシーンに切り替わり、ピントが合います（自動シーン認識）。 **シーン・効果の設定：** MENU ▶ 1 1 ▶ 項目を選択
スマイルファインダー	被写体の笑顔が設定値に達したときにシャッターが切れます。 **笑顔度の設定：** MENU ▶ 3 2 ▶ 笑顔度を選択
セルフタイマー	カメラを置いて自分を入れた写真を撮る以外にも、手ぶれ防止のために利用できます。 **シャッターが切れるまでの秒数を設定：** MENU ▶ 5 ▶ 秒数を選択
連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影	指定した枚数での連続撮影や4コマ撮影、カメラの自動合成技術を利用したパノラマ撮影ができます。 **撮影方法の選択：** MENU ▶ 6 ▶ 撮影方法を選択

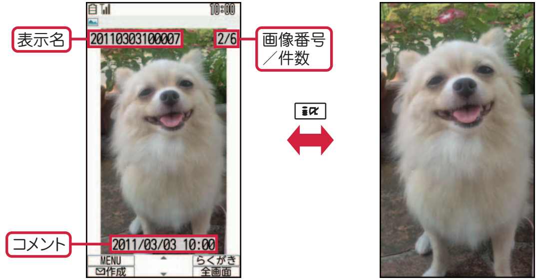
Information

- 被写体を追尾する【🔍トラッキングフォーカス】、あらかじめ登録した人物の顔を検出する【🔍サーチミーフォーカス】などがあります。
- 画像サイズ、画質、連続撮影枚数、自動保存、保存先、シャッター音など、撮影に関するさまざまな設定を変更することができます。【🔍カメラ ▷ 静止画詳細設定】

撮影した静止画／動画を見る

撮影した静止画を見る

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 1 マイピクチャ ▶ 1 カメラ ▶ 画像を選択



〈選択した画像の表示画面〉　〈画像の全画面表示〉

撮影した動画を再生する

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 4 i モーション／ムービー ▶ 2 カメラ ▶ 動画を選択

Point

ファイル添付のメール作成： 一覧画面でデータにカーソル ▶ ✉

Information

- 静止画や動画はmicroSDカードに保存したり（⇒P67）、フォルダやアルバムを作って分類整理することができます。【🔍フォルダ ▷ 追加／削除】
- 静止画を待受画面に設定することができます（⇒P27）。動画も同様です。【🔍待受画面設定 ▷ 待受画面選択】

らくがき盛りフォト

付属のタッチペンを使って、静止画を装飾します。専用の画面から撮影して作成することも、保存した静止画から作成することもできます。

タッチパネル

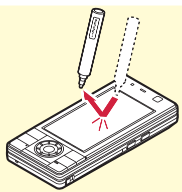
らくがき盛りフォトを作成するときのみ、ディスプレイをタッチパネルとして使用することができます。

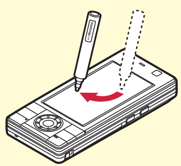
✜ タッチパネル利用上のご注意

- タッチパネルの操作には、付属のタッチペンをお使いください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 異物をタッチパネルにのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
- 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。
- ディスプレイの周囲の枠部分を強く押さないでください。タッチパネルが誤動作することがあります。

タッチの基本操作

タッチ：画面を軽く1回押して離す
ドラッグ：画面を軽く押したまま、タッチペンを移動する


例：タッチ


例：ドラッグ

✜ タッチペンのキャップの取り付け／取り外し

キャップを取り外すときは、キャップを手で固定し、ペン側を左に回して取り外します。
キャップを取り付けるときは、キャップを手で固定し、ペン側を右に回して取り付けます。このとき、しっかりロックされたか確認してください。

らくがき盛りフォトの作成

らくがき盛りフォト用の写真を撮影し、そのままらくがき盛りフォトを作成する方法を説明します。

1 **［カメラ］（1秒以上）▶［はじめから］を選択**
保存されている静止画でらくがき盛りフォトを作成する場合は［らくがきから］を選択します。

2 **画面の指示に従って、項目をタッチ▶［撮影スタート］をタッチ or ◉ or ［カメラ］**
カウントダウンが開始され、約3秒後に撮影されます。

3 **撮影した静止画を確認▶［らくがき開始］をタッチ or ◉ or ［カメラ］▶静止画を編集**
編集画面でタッチペンで絵を描いたり、スタンプを貼り付けたりすることができます。

4 **［完成］をタッチ▶保存先を選択▶操作を選択**

Information

- タッチペンでタッチした位置と、FOMA端末が実際に感知する位置が一致しないときに補正することができます。【🔍タッチパネル▷補正】

たのしむ

ワンセグを見る

●ワンセグのご利用にあたって
ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
※「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/
●放送波について
ワンセグは放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。次のような場所では、正しく動作しない場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など

※受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。
●初めてワンセグを利用する場合の画面表示
免責事項の確認画面が表示されます。了承し「OK」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

プリセットからチャンネルリストの作成 （未作成時）

ワンセグを視聴するには、まずチャンネルリストを作成する必要があります。ここでは、FOMA端末に登録されている地域から放送局とチャンネルを読み込みます。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 9 ワンセグ ▶ 7 チャンネルリスト ▶「はい」▶「プリセットから設定」**
「自動チャンネル設定」は、現在いる場所で受信できるチャンネルを検索します。自動チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でワンセグアンテナを伸ばして行ってください。

2 **地域を選択 ▶「はい」**

利用チャンネルリストの設定

チャンネルリストが複数あるときや地域を移動した場合には、チャンネルリストの切り替えが必要です。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 9 ワンセグ ▶ 7 チャンネルリスト ▶ チャンネルリストにカーソル ▶ iα ［登録］**
チャンネル番号一覧が表示されます。チャンネルにカーソルを合わせて◉を押すと、視聴することができます。

ワンセグ起動

1 **TV（1秒以上）**

視聴画面の見かたと操作

全画面でワンセグを視聴したり、画面を分割してデータ放送を同時に楽しむことができます。
横画面で視聴するには、クローズスタイルにする必要があります。



〈横画面(全画面)〉

選局：[1]～[9]、[✱]、[0]、[#]
視聴画面の切り替え：[✓]
音量調整：[✉]［音量小］／[iα]［音量大］
ビデオ録画の開始／停止：[📷](1秒以上)
※ 停止する際に[⌐]を押すと、視聴のみ終了(録画継続)と視聴・録画終了を選択できます。
静止画の録画：[📷]

Point

- 視聴中に[MENU]を押して表示されるサブメニューからは、視聴・録画予約、オフタイマー、ワンセグecoモードのオン／オフ操作などができます。

キー操作の一覧表示：視聴中に[MENU]▶[9]

視聴予約・録画予約

自動的にワンセグ視聴や録画を起動したり、番組の開始をアラームで知らせたりします。

1 [MENU]▶[6]LifeKit▶[9]ワンセグ▶[4]予約／予約リスト

2 [MENU]▶[1]新規予約▶入力方法を選択▶[📷]［登録］
「視聴予約」「録画予約」を選択した場合には、続けて日時やチャンネルなどの予約内容を設定します。
「番組表」を選択すると、番組表ｉアプリが起動します。番組表ｉアプリで番組を選んで視聴予約または録画予約を行うと、設定画面に予約内容が登録されて表示されます。

3 [📷]［登録］

Point

- 長時間の番組を録画する場合は、録画予約画面の「録画動作」でより空き領域の多い保存先を指定してください。

録画した番組の再生

1 [MENU]▶[5]データBOX▶[0]ワンセグ▶保存場所を選択▶データを選択

Music&Videoチャネル

夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスで、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービス契約が必要です。
- 番組によっては、Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますので、ご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得はできません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

番組の設定

Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要な場合があります。

1 **MENU ▶ 9 MUSIC ▶ 2 Music&Videoチャネル**

右の画面が表示されます。

2 **「番組設定」▶ 画面の指示に従って番組を設定**



〈Music&Videoチャネル画面〉

番組の再生

1 **MENU ▶ 9 MUSIC ▶ 2 Music&Videoチャネル ▶ 番組を選択**

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開： ◉［PAUSE／PLAY］

音量調整： ◎

巻き戻し／早送り： ◎（1秒以上）

チャプターの先頭に移動： 再生時間が3秒経過後◎

前のチャプターに移動： 再生時間が3秒以内に◎

次のチャプターに移動： ◎



〈Music&Videoチャネルプレーヤー画面〉

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル®、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを再生します。また、サイトからダウンロードしたうた文字を、歌詞設定することでプレーヤー画面に表示させることができます。

※ ミュージックプレーヤーの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

着うたフル®のダウンロード

1 **サイトを表示▶着うたフル®を選択▶「保存」▶[📷]［保存］**

パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存

パソコンとの接続にはFOMA USB接続ケーブル（別売）などが必要です。詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

1 **[MENU]▶[6]LifeKit▶[2]赤外線・iC・PC連携▶[5]USBモード設定▶[3]MTPモード▶「はい」**

2 **Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続▶パソコンからWMAファイルを転送**

音楽データの再生

1 **[MENU]▶[9]MUSIC▶[1]ミュージックプレーヤー▶[2]全曲～[7]年▶音楽データを選択**

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開：[●]［PAUSE／PLAY］or [📷]

音量調整：[↕]

巻き戻し／早送り：[↔]（1秒以上）

曲の先頭に移動：再生時間が3秒経過後[←]

前の曲：再生時間が3秒以内に[←]

次の曲：[→]

クイックプレイリスト登録：[📷]（すばやく2回）

終了：[📷]（1秒以上）



〈ミュージックプレーヤー画面〉

Point

- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- FOMA端末、microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

iアプリ／iウィジェット

iアプリはiモード対応携帯電話用のソフトで、株価や天気情報などを自動更新したり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだりすることができます。iウィジェットは、電卓や時計、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。
いずれもiモードサイトやIP（情報サービス提供者）などが提供するサイトからダウンロードすることができます。詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- ダウンロードやiウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかることがあります。
- iウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- おサイフケータイ対応iアプリ（ICカード）に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ダウンロード

1 サイトを表示▶iアプリを選択▶ダウンロード完了後に「はい」or「いいえ」
ダウンロードしたiアプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。メール連動型iアプリをダウンロードすると、メールのフォルダ一覧にメール連動型iアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。

iアプリの起動

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択▶iアプリを選択

Point
おサイフケータイ対応iアプリを起動：[MENU]▶[*][1]▶iアプリを選択
地図アプリを起動：[MENU]▶[6][7][2]▶iアプリを選択

iウィジェットの起動

1 [w/TV]▶ウィジェットアプリを選択

Information

- お買い上げ時に登録されているiアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  「@Fケータイ応援団」（2010年11月現在）
  iMenu ⇒ メニューリスト ⇒ ケータイ電話メーカー ⇒ @Fケータイ応援団
  ※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

ｉモーション／ムービーの再生

サイトやホームページからｉモーションやムービー（映像や音など）を取得することができます。

✜ 再生可能なｉモーション

種類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生 • 取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作可能です。
	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生 • 再生終了後、ｉモーションのデータは消去されます。

※ 保存できないｉモーションもあります。

✜ 再生可能なムービー

種類	配信方式	再生動作
ストリーミングタイプ（保存不可）	ライブ配信	リアルタイムに配信 • 一時停止／再生再開／再生位置の移動などはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめ用意されたムービーを配信

ｉモーション・ムービーの取得

1 サイトやホームページ表示中にｉモーションやムービーを選択

データ取得中またはダウンロード完了後に再生が開始されます。ムービーは再生が終了すると自動的にサイト画面に戻ります。

ｉモーションの保存：「保存」▶表示名を入力（36文字以内）▶[📷]

Point

• ムービーのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと通信料が高額になりますので、ご注意ください。

動画／ｉモーションの再生

1 [MENU]▶[5]データBOX▶[4]ｉモーション／ムービー▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択

再生中は次のような操作ができます。

音量調整：[◎上下]

巻き戻し／早送り再生：[◎左右]

一時停止／再生／先頭から再生（停止中）：[◉]

しおりを設定：[iα]▶「はい」

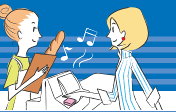
停止：[📷]

Information

• サイトから標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定することができます。【動画自動再生設定】

• FOMA端末に保存された再生制限などがないｉモーションのタイトルを、最大100件まとめてプレイリストに登録することができます。【動画／ｉモーション▷プレイリスト作成／削除】

おサイフケータイの利用



おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、セキュリティも充実しています。詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

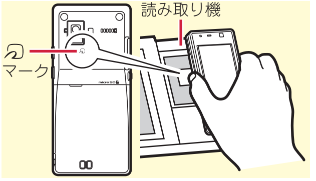
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

おサイフケータイの利用手順

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認したりします。おサイフケータイ Webプラグインに対応したおサイフケータイ対応サービスは、サイトからサービスを利用することができます。

1. **必要に応じておサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする**
2. **おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してサービスの初期設定を行う**
3. **FOMA端末のマークを読み取り機にかざす**

   このとき、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する必要はありません。
   マークを読み取り機にかざしてもうまく認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。



Information

- ICカード機能を使用できないようにすることができます。⇒P33
- 機種変更や故障修理時などでおサイフケータイをお取り替えになる際、ICカード内のデータを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができます。【iCお引っこしサービス】
- 読み取り機やサイトなどからクーポン券などの電子カードを取得することができます。【トルカ】

ｉコンシェルの利用

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）がお客様の生活をサポートするサービスです。お客様からお住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳などをお預かりして、お客様の生活エリアや居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末内のスケジュールやトルカなどを自動更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスの契約のないお客様がｉコンシェルにご契約になると、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要です。国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります（国内での通信料とは異なります）。
- コンテンツによっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

インフォメーション受信と詳細表示

インフォメーションは自動で送られてきます。インフォメーションを受信すると右の画面が表示されます。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

〈インフォメーション受信画面〉

1 MENU ▶ # ｉコンシェル ▶ インフォメーションを選択

インフォメーションにスケジュールやトルカの添付、サイトへのリンク項目がある場合は、アイコンを選択すると内容を確認できます。

Information

- ｉコンシェルのインフォメーション受信時に、待受画面に表示するかどうかを設定できます。【インフォメーション表示設定】

スケジュール帳

FOMA端末でスケジュールを管理することができます。

スケジュールの登録

1 ◎ ▶ MENU ▶ 1 **新規作成**

右の画面が表示されます。

2 **◎で画面を切り替えて各項目を設定**

3 📷 **［登録］**



〈スケジュール新規作成画面〉

Point

待受画面からの簡単な登録（クイックスケジュール）：待受画面で日時を入力（3月3日10時0分の場合、「03031000」）▶ ◎ ▶ スケジュールの登録

スケジュールの確認

1 ◎ ▶ **スケジュールの登録日を選択** ▶ **スケジュールを選択**

Information

- スケジュール帳には、iコンシェルからダウンロードしたiスケジュールや電話帳に登録した誕生日などを表示できる「ノーマル」と、カレンダー画面のスクロール動作や拡大表示を変更できる「クラシック」という2つのタイプがあります。【スケジュール帳 ▷ スケジュール帳表示設定】

目覚まし

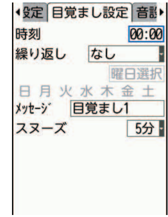
指定した時刻に目覚ましを鳴らします。目覚ましが鳴った後にワンセグが起動するように設定することもできます。

1 ◎ **（1秒以上）** ▶ **番号を選択**

右の画面が表示されます。

2 **◎で画面を切り替えて各項目を設定**

3 📷 **［登録］**



〈目覚まし設定画面〉

Point

- 「スヌーズ」には30分間での鳴動間隔を指定します。
- ワンセグ設定画面の「ワンセグ利用」を「する」にすると、目覚まし終了時または停止時にワンセグが起動し（目覚ましワンセグ）、「オフタイマー」に指定した時間経過後に終了します。
- 目覚ましが鳴っているときには、約1分間何も操作しない、⌒と ｳｨｼﾞｪｯﾄ/TV と 🔑 以外のキーを押す、クルクルキーを回転する、ダブルタップのいずれかで、目覚ましが停止またはスヌーズ動作になります。⌒を押すと終了します。

Information

- 電源を切っていても目覚ましの時刻に電源が入るように設定することができます。【アラーム自動電源ON設定】

便利ツール

バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード、CODE128コードの情報を読み取って利用することができます。

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 1 バーコードリーダー

2 アウトカメラをコードに合わせる

コードの読み取りが完了すると確認音が鳴ってデータが表示されます。読み取り後の画面から、サブメニューでコピーや保存の操作をします。データによっては、その画面から電話帳への登録やメール作成、サイトやホームページへの接続などができます。



〈読み取り中画面〉

Point

- 大きなサイズのコードを読み取るときは、# を押して接写撮影をOFFに切り替えてください。また、◎を押してズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などによって、読み取れない場合があります。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節やオートフォーカスの利用により、読み取れることがあります。
- CODE128コードを読み取るには対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。

便利ツール

辞典

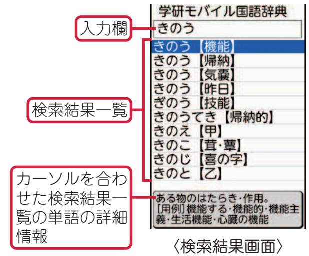
辞典を使って単語の意味や英単語のスペルなどを調べることができます。

1 MENU ▶ 7 アクセサリー ▶ 5 辞典

2 1 国語辞典（学研モバイル国語辞典）～ 3 英和辞典（学研モバイル英和辞典）

3 単語を入力（全角20（半角40文字）以内）

4 検索結果一覧から調べたい単語を選択



〈検索結果画面〉

Point

- 「今日は何の日」または「今日の歴史」を調べたいときには、操作2で 4 または 5 を押します。

検索履歴の利用： MENU ▶ 7 5 ▶ 1 ～ 3 ▶ MENU ▶ 1 ▶ 単語を選択

microSDカードを利用する

microSDカードには、静止画や動画、メロディなどを保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりすることができます。

- F-04Cは、市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年11月現在）。最新の動作確認情報については、下記をご覧ください。なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ｉモードから：ｉMenu ⇒ メニューリスト ⇒ ケータイ電話メーカー ⇒ @Fケータイ応援団 ⇒メモリーカード対応情報

サイトアクセス用QRコード

パソコンから：FMWORLD（http://www.fmworld.net/）⇒携帯電話⇒microSD対応状況、microSDHC対応状況

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

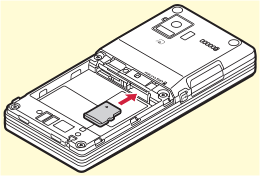
✤ microSDカード使用時の留意事項

- パソコンなど他の機器からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

取り付け

1 **FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外す**

2 **microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（右図）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む**



※ microSDカードを取り外すには、microSDカードを軽く押し、飛び出させてから引き出します。

初期化

microSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 📷［初期化］▶ 完全初期化 ▶ 認証操作 ▶「はい」**

Point

- すでに初期化済みのmicroSDカードは、「簡易初期化」によって必要最小限の処理で初期化することができます。初期化によって、microSDカード内のデータはすべて消去されます。

簡易初期化：データ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。

完全初期化：データ管理領域とデータ領域の両方を初期化します。

FOMA端末とmicroSDカード間でデータをやり取りする

FOMA端末内の大切なデータは、microSDカードに保存しましょう。

microSDカードへ移動／コピー

〈例〉マイドキュメントの1件移動／コピー

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 6 マイドキュメント ▶ フォルダを選択

2 データにカーソル ▶ MENU ▶ 3 移動／コピー ▶ 4 microSDへ移動 or 5 microSDへコピー ▶ 1 1件移動 or 1 1件コピー ▶「はい」

Point

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは移動やコピーができません。

FOMA端末へ移動／コピー

〈例〉マイドキュメントの1件移動／コピー

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 3 マイドキュメント ▶ フォルダを選択

2 データにカーソル ▶ MENU ▶ 3 移動／コピー ▶ 1 本体へ移動 or 2 本体へコピー ▶ 1 1件移動 or 1 1件コピー ▶「はい」

microSDカードのデータ表示

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 1 マルチメディア～8 その他 ▶ データの種類またはフォルダを選択 ▶ データを選択

一括バックアップ

FOMA端末の電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、設定項目データを一度にmicroSDカードにバックアップすることができます。2回目以降は上書き保存になります。

1 MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 7 バックアップ／復元 ▶ 1 microSDへバックアップ

2「はい」▶ 認証操作

電話帳が登録されていない場合、操作3は不要です。

3「はい」or「いいえ」

Point

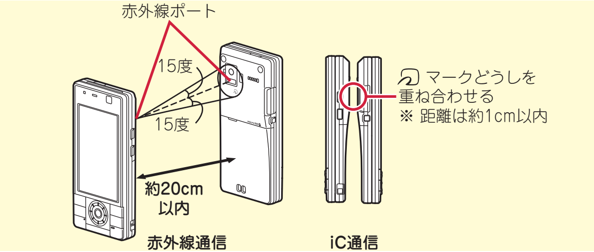
- 電話帳に登録されている動画、100Kバイトを超えた分のメール添付ファイルはバックアップされないなど、いくつかの制限があります。
- 操作1の最後で「2 本体へ復元」を選択すると、FOMA端末側の最新データは消去され、上書き保存されます。

Information

- microSDカードの使用量を確認したり、他の機器で変更、追加、削除したデータを正しく認識させるためのメニューがあります。【microSDカード ▷ 使用状況｜情報更新】
- 保存場所に関係なく静止画をアルバムに整理して閲覧することができます。【マイコレクション】

赤外線通信／iC通信

赤外線通信機能やiC通信機能が搭載されたFOMA端末などとデータの送受信ができます。相手側の赤外線ポートやマークの位置を確認し、下図を参考に通信してください。



Point

- 全件送受信の場合は、送受信側であらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておきます。赤外線の場合は、先に受信側の端末を待機状態にします。
- 全件送受信では、受信側に保存されていたデータは削除され、新しく受信したデータが保存されます。ただし、削除されない場合（「プリインストール」フォルダ内のデータなど）や保存先、フォルダ名、データの並び順などが送信側と異なる場合があります。
- 充電中はiC通信によるデータの送信はできません。

電話帳の1件赤外線／iC送信

1 送りたい電話帳にカーソル▶MENU▶8赤外線／iC送信▶1赤外線送信 or 3iC送信▶「はい」

データの全件赤外線／iC送信

1 MENU▶6LifeKit▶2赤外線・iC・PC連携▶2赤外線全件送信 or 3iC全件送信▶送信項目を選択▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」

データの1件赤外線受信

1 MENU▶6LifeKit▶2赤外線・iC・PC連携▶1赤外線受信▶1受信▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」

データの1件iC受信

1 送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶受信後に「はい」

データの全件赤外線受信

1 MENU▶6LifeKit▶2赤外線・iC・PC連携▶1赤外線受信▶2全件受信▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」

データの全件iC受信

1 送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶認証操作▶認証パスワード入力▶再度マークを重ね合わせる▶受信後に「はい」

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、microSDカード内のWMAファイルや画像をやりとりすることができます。
また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

USBモード設定

パソコンからFOMA端末内のmicroSDカードのデータを操作することができます。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 2 赤外線・iC・PC連携 ▶ 5 USBモード設定 ▶ モードを選択**

通信モード：パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

microSDモード：FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作するときに設定します。

MTPモード：Windows Media PlayerでmicroSDカードに音楽データを転送するときに設定します。

2 **「はい」**

ドコモケータイdatalink

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/
ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。

Point

- データ通信やドコモケータイdatalinkを使ったデータ転送を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
- USBモード設定が「microSDモード」「MTPモード」の場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは不要です。

故障かな？と思ったら

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。⇒P73
気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

✜ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- 電池切れになっていませんか。

●充電ができない（充電中のランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。
- ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。
- アダプタの電源プラグまたはシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してランプが消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後にFOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

✜ 端末操作

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●キー操作をしても動作しない

オールロック、おまかせロック、誤操作防止ロック、画面オフロックを起動していませんか。

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモUIMカードが認識されない

- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。
- FOMAカード（青色）を挿入していませんか。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「ON」にして電波のよい所で電源を入れ直してください。

✜ 通話

●通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックやドコモUIMカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、圏外ではなく、アンテナアイコンが3本表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- メモリ別着信拒否／許可、発番号なし動作設定、メモリ登録外着信拒否を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●ダイヤルキーを押しても発信できない

オールロック、おまかせロック、セルフモード、ダイヤル発信制限、画面オフロック、親子モードの各種利用制限の電話発信／メール送信設定を起動していませんか。

✜ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- FOMA端末の マークを読み取り機にかざしていますか。
- 電池パックを取り外すと、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- おまかせロックやICカードロックを起動していませんか。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

✤ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

✤ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

✤ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまったりした場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

iモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

「iモード故障診断サイト」への接続方法

iモードサイト： iMenu⇒お知らせ⇒サポート情報⇒お問い合わせ⇒故障・電波状況お問い合わせ先⇒iモード故障診断

サイトアクセス用
QRコード

- アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- 海外からアクセスする場合は有料となります。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。
更新方法には、「自動更新」「即時更新」「予約更新」の3つの方法があります。

※ ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

✤ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他機能を利用できません（ダウンロード中は音声電話の着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止されたりした場合は、再度、電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

自動更新設定 （お買い上げ時：自動で更新）

ソフトウェア更新が必要なときに自動で更新を行うか、更新が必要なことを通知するかを選択します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶7スライド／時計／入力／他▶4ソフトウェア更新▶認証操作▶「自動更新設定」▶各項目を設定▶📷［確定］**

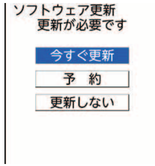
「自動で更新」にした場合、ソフトウェア更新が必要になると、自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面に（書き換え予告アイコン）が表示されます。アイコンを選択して、書き換えの開始時刻を確認したり、変更したりできます。
「更新の通知のみ」にした場合、更新が必要なときに待受画面に（更新お知らせアイコン）が表示されます。

即時更新

待受画面の（更新お知らせアイコン）を選択するか、メニューの項目を選択する方法があります。
ただし、サーバが混み合っているときには、即時更新ができない場合があります。

〈例〉更新お知らせアイコンを選択して更新する

1 **◉▶（更新お知らせアイコン）を選択▶「はい」▶認証操作**



〈ソフトウェア更新画面〉

2 **「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始**

ダウンロード中止：ダウンロード中画面で◉

サーバが混み合っているときには、更新日時を予約するか、更新を取りやめるかの選択画面が表示されます。

3 **ダウンロード終了の約5秒後に自動的に書き換え開始▶書き換え終了後、自動的に再起動▶「OK」**

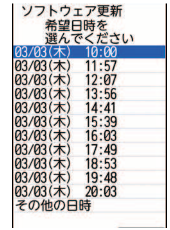
予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合に、日時を予約して更新を行います。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 **ソフトウェア更新画面で「予約」**

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。



〈希望日時選択画面〉

2 **希望日時を選択▶「はい」▶「OK」**

「その他の日時」を選択すると、表示されている候補以外から日時を予約することができます。設定すると待受画面に（予約アイコン）が表示されます。

ソフトウェア更新の予約確認

予約した日時の確認や変更などを行います。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶7スライド／時計／入力／他▶4ソフトウェア更新▶認証操作▶「更新実行」**

予約確認画面が表示されます。

2 **内容を確認▶「OK」**

Point

予約の変更：予約確認画面で「変更」▶希望日を選択▶希望時間帯を選択▶希望日時を選択▶「はい」▶「OK」
予約の取り消し：予約確認画面で「取消」▶「はい」▶「OK」

スキャン機能（セキュリティスキャン）

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。

●パターンデータの更新

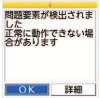
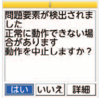
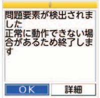
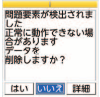
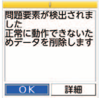
まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

自動更新設定

パターンデータを自動で更新するように設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 4 セキュリティ／ロック ▶ 7 スキャン機能 ▶ 2 自動更新設定 ▶「有効」▶「はい」▶「はい」▶「OK」**

パターンデータの自動更新が行われると、待受画面にまたはが表示されます。

警告レベル	スキャン結果画面	対処方法
0		**「OK」**：起動中のアプリケーションの処理を続行する
1		**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する **「いいえ」**：起動中のアプリケーションの処理を続行する
2		**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する
3		**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する **「いいえ」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する
4		**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する

※ それぞれの画面で「詳細」を選択すると、検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。問題要素が6個以上の場合、6個目以降の問題要素名は省略されます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※2
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F19
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F33
- リアカバー F56
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※3
- FOMA 補助充電アダプタ 01／02
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※4／P02※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01※4
- イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※4
- スイッチ付イヤホンマイク P001※5／P002※5
- ステレオイヤホンセット P001※5
- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- マイク付リモコン F01※4
- イヤホンターミナル P001※5
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA室内用補助アンテナ※6
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※6
- 骨伝導レシーバマイク 01※4
- タッチペン F01

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
※2 F-04Cを利用／充電するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 F-04Cと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5 F-04Cと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※6 日本国内で使用してください。

メニュー一覧

- 表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。
- 赤色の文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニュー（下位メニューの一部がお買い上げ時の設定に戻るメニューも含む）です。

■メール

受信メール	
新規メール	
新規デコメアニメ	
未送信メール	
送信メール	
ｉモード問い合わせ	
SMS／エリアメール設定	SMS
	エリアメール設定
メール選択受信	
メール設定	着信設定
	メール振り分け設定
	署名設定
	メール返信設定
	メール自動返信設定
	メールグループ
	ブログ／SNS投稿先設定
	受信・表示設定
	編集時自動保存設定
	ｉモード問い合わせ設定
テンプレート	デコメール
	デコメアニメ

■ｉモード

ｉMenu 検索	
Bookmark	
画面メモ	
ラストURL	
URL入力	URL入力
	URL入力履歴
ｉチャネル	ｉチャネル一覧
	ｉチャネル設定
	ｉチャネル初期化
ｉモード設定	ｉモードブラウザ設定
	フルブラウザ設定
	共通設定
	ｉモード設定確認
	ｉモード設定リセット
ツータッチサイト	
RSSリーダー	
フルブラウザホーム	
検索サービス	

■ｉアプリ

ソフト一覧	
ｉアプリコール履歴	
ｉアプリ設定	ソフトの並べ替え
	自動起動設定
	ソフト情報表示設定
	照明点灯時間設定
	明るさ調整
	バイブレータ設定
	ｉアプリ音量
	ｉウィジェット設定
	ｉアプリコールダウンロード設定
履歴表示	
ツータッチｉアプリ表示	
ｉアプリについて	

■電話帳／履歴

電話帳検索	
電話帳登録	
電話帳グループ追加	
UIMカード（FOMAカード）操作	
着信履歴	
リダイヤル	
伝言メモ／音声メモ	伝言メモ設定
	伝言メモ一覧
	音声メモ録音
	音声メモ一覧
メール送受信履歴	メール送信履歴
	メール受信履歴
プロフィール情報	

■データBOX

マイピクチャ
ミュージック
Music&Videoチャネル
ｉモーション／ムービー
メロディ
マイドキュメント
きせかえツール
マチキャラ
キャラ電
マイコレクション
ワンセグ

■LifeKit

バーコードリーダー	
赤外線・iC・PC連携	赤外線受信
	赤外線全件送信
	iC全件送信
	データ送受信設定
	USBモード設定
microSD	
カメラ	静止画撮影
	動画撮影
	らくがき盛りフォト
サウンドレコーダー	
ケータイデータお預かりサービス	データ確認／更新方法等
	通信履歴表示
	電話帳内画像送信設定
	電話帳等のお預かり／更新
	設定のお預かり／更新
	画像のお預かり
地図	地図表示
	地図アプリ
	地図選択
ウォーキング／Exカウンター	歩数／活動量／カロリー情報
	ウォーキング／Exカウンター設定
ワンセグ	ワンセグ視聴
	番組表
	録画した番組
	予約／予約リスト
	録画予約履歴
	テレビリンク
	チャンネルリスト
	ユーザ設定
使いかたガイド	
ビューティーミラー	

■アクセサリー

スケジュール帳	
テキストメモ	
目覚まし	
電卓	
辞典	国語辞典（学研モバイル国語辞典）
	和英辞典（学研モバイル和英辞典）
	英和辞典（学研モバイル英和辞典）
	今日は何の日
	今日の歴史
お知らせタイマー	
ワンタッチアラーム設定	
イミテーションコール	イミテーションコール開始
	イミテーションコール設定
簡易ライト	

■設定／NWサービス

音／バイブ	音設定
	音量設定
	バイブレータ設定
	マナーモード選択
	呼出動作開始時間設定
	ステレオ効果設定
	音楽再生音優先設定
ディスプレイ	待受画面設定
	メニュー設定
	各種画面設定
	照明／キーバックライト設定
	イルミネーション設定
	文字表示設定
	マチキャラ設定
	ecoモード設定
	プライバシービューレベル設定
きせかえ／ライフスタイル	きせかえツール
	トータルカスタマイズ
	ライフスタイル設定
セキュリティ／ロック	ロック
	プライバシーモード
	親子モード
	電話／メール着信時設定
	UIMカード(FOMAカード)設定
	端末暗証番号変更
	スキャン機能
	パスワードマネージャー
	microSDパスワード設定

発着信・通話機能	電話発着信設定
	発番号なし動作設定
	エニーキーアンサー設定
	イヤホン機能設定
	メモリ着信拒否／許可
	発着信詳細設定
	通話詳細設定
	セルフモード設定
テレビ電話	テレビ電話発信設定
	テレビ電話着信設定
	テレビ電話動作設定
	パケット通信中着信設定
	テレビ電話画像選択
	テレビ電話使用機器設定
	テレビ電話切替機能通知
スライド／時計／入力／他	スライド編集設定
	時計
	文字入力設定
	ソフトウェア更新
	情報表示／リセット
	サイドマルチキー長押し設定
	モーションセンサー設定
	フェムトセル設定
	端末リフレッシュ設定
	タッチパネル補正
	クルクルキー設定

NWサービス	留守番電話
	キャッチホン／転送でんわ
	着もじ
	番号通知
	OFFICEED
	2in1設定
	メロディコール設定
	その他のNWサービス
	海外ネットワークサーチ
	海外設定
	海外用サービス

■MUSIC

ミュージックプレーヤー
Music&Videoチャネル

■おサイフケータイ

ICカード一覧	
DCMX	
トルカ	
ICカードロック設定	ICカードロック
	ICカードロック時動作設定
	ICカードオートロック設定
	ICカードロック解除予約
	電源OFF時ICロック設定
トルカ設定	トルカ取得確認設定
	ICカードからトルカ取得
	自動読取機能設定
	トルカ振り分け設定
	ワンセグからトルカ取得
ICオーナー確認	
ICオーナー変更	
ｉモードで探す	

■プロフィール

プロフィール情報

■ｉコンシェル

ｉコンシェル

主な仕様

■本体

品名		F-04C
サイズ		高さ約111mm×幅約50mm×厚さ約14.9mm（最厚部：約17.1mm）
質量		約128g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3	FOMA／3G	静止時：約550時間 移動時：約380時間
連続通話時間※2、3、4	FOMA／3G	音声電話時：約220分 テレビ電話時：約100分
ワンセグ視聴時間※2、5		約240分 （ワンセグecoモード時：約320分）
充電時間※6		ACアダプタ：約140分 DCアダプタ：約140分
ディスプレイ	方式	TFT262,144色
	サイズ	約3.0inch
	画素数	409,920画素（480ドット×854ドット）
撮像素子	種類	アウトカメラ：CMOS インカメラ：CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/4.0inch インカメラ：1/6.0inch
	有効画素数	アウトカメラ：約510万画素 インカメラ：約130万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	アウトカメラ：約500万画素 インカメラ：約130万画素
	ズーム（デジタル）	アウトカメラ：最大約16.0倍 インカメラ：最大約2.0倍
記録部	静止画記録枚数※7	最大約690枚（お買い上げ時）
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※8	最大約57分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約180分（microSDカード2GB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	最大約18分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約640分（microSDカード2GB保存時）
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約1,140分※9 着うたフル®：約4,761分※9、10 WMAファイル：約4,467分※10 Music&Videoチャネル（音声）： 約4,761分※10 Music&Videoチャネル（動画）：約299分
保存容量	着うた®※11／着うたフル®	小悪魔 PINK、STAR SPLASH：約62MB LOVE SWEET PINK：約61MB

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

※3 ｉモード通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、ワンセグの視聴や録画などを行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※5 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
※6 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
※7 静止画記録枚数とは、画像サイズが「QVGA（240×320）」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが25Kバイトの場合です。
※8 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズが「QCIF（176×144）」、品質が「STD（標準）」の場合です。撮影する映像によって異なります。
※9 AAC形式のファイルです。
※10 バックグラウンド再生に対応しています。
※11「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■電池パック

品　名	電池パック F19
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	820mAh

保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	―
ドコモUIMカード電話帳		最大50件	―
きせかえツール※1		最大50件	―
メール※1、2	**受信メール**	最大2500件	最大1250件
	送信メール	最大500件	最大250件
	未送信メール	最大200件	最大100件
エリアメール		最大30件	最大15件
Bookmark※3		最大200件	―
画面メモ※1、3		最大100件	最大100件
ミュージック※1	**着うたフル®**	最大100件	―
	うた文字	最大100件	―
ｉアプリ※1、4		最大100件	―
画像※1		最大3000件	―
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大200件	―
メロディ※1		最大500件	―
ワンセグ※1	**ビデオ**	最大10件	―
	イメージ	最大100件	―
スケジュール帳※5		最大2600件	―
テキストメモ		最大50件	―

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズや共有している保存領域の使用状況により少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3 ｉモードとフルブラウザの合計件数です。
※4 ｉアプリ、メール連動型ｉアプリの合計件数です。メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます。
※5 スケジュール、ｉスケジュール内の予定、ワンセグの視聴／録画予約の合計件数です。ワンセグの視聴／録画予約は合わせて最大100件登録できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-04Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.659W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された局所吸収指針委員会にて審議している段階です。（平成22年11月現在）

Declaration of Conformity

The product "F-04C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.508W/Kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.380W/kg, and when worn on the body, is 0.485W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F04C).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.

※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

付録

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

付録

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「キャラ電」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「セキュリティスキャン」「ｉエリア」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「iCお引っこしサービス」「マチキャラ」「OFFICEED」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「docomo STYLE series」「かんたんデコメ」「ドコモwebメール」「きせかえツール」および「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「iC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International,Inc.またはその関係会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite® および Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google, Inc.の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Foundation Limitedよりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  SymbianはSymbian Foundation Limitedの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- Uni-Typeは、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。
  Uni-Typeは、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
- 「丸ゴシック」、「レイミン」、「丸フォーク」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。また「レイミン」、「丸フォーク」の名称は、同社の商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- Blu-ray Discおよびロゴは商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。

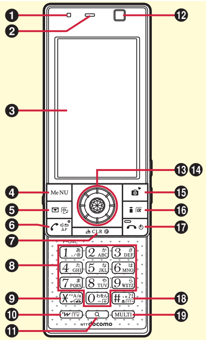
- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」「今日は何の日」「今日の歴史」は、学研編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

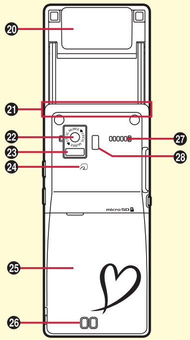
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

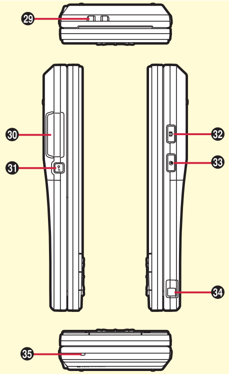
Quick Manual

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Part names







* Illustration is an example. Printed characters and mark vary by the FOMA terminal body color.

❶ Light sensor (Sense ambient luminance to automatically adjust brightness of the display)
❷ Earpiece
❸ Display (Touch panel)
❹ [MENU] MENU key
❺ [✉] Mail/Character key
❻ [✆] Voice call start key
❼ [CLR] ch/Clear key
Display i-Channel or return to the previous screen.
❽ [0] - [9] Numeric keypad
❾ [✱] * /Public mode (Drive mode) key
❿ [i-Widget/TV] i-Widget/TV key
⓫ [🔍] Search key (Activate quick search)
⓬ In-camera
Shoot yourself or send your image via videophone.
⓭ Light
⓮ Kurukuru-key (Multi-cursor key)
Move the cursor or operate menu.
◉ : Perform an operation.
◉ : Display Scheduler, or adjust volume.
◉ : Display Phonebook, or adjust volume.
◉ : Display Received calls.
◉ : Display Redial.
⓯ [📷] Camera key
⓰ [iα] i-mode/i-αppli key
⓱ [⌒] Power/End key
⓲ [#] # /Silent mode key
⓳ [MULTI] Multitask key (Activate/Perform another function)
⓴ Mirror
㉑ FOMA antenna (Built-in)
㉒ Out-camera
㉓ Infrared data port
㉔ mark (Osaifu-keitai, iC transmission, etc.)
㉕ Back cover
* To access the UIM card slot and the microSD card slot, remove the back cover and then remove the battery pack.
㉖ Charging jack
㉗ Speaker
㉘ Light/Shooting light
㉙ Strap opening

㉚ External connection jack
To connect an optional AC adapter, DC adapter, FOMA USB Cable with Charge Function, Earphone Plug Adapter for External connector terminal etc.

㉛ [Lock] Lock key
Turn off the screen in Slide style or activate/deactivate Operation lock in Closed style.

㉜ [Camera] Side camera key
Stop each alarm sound or vibrator, activate quick record message for incoming call, start/stop Voice memos or Movie memo during a call, activate Still camera.

㉝ [Multi] Side multi-key (Activate/Start another function)

㉞ 1Seg antenna

㉟ Microphone

Viewing display

Top of the display

(Ample)⇔ (Low) : Battery level
(Strong)⇔ (Weak), 圏外 : Signal strength
: Connecting to i-mode
: Infrared communication in operation
: eco mode ON
: Security lock ON
: Unread i-mode mail exists
: Arrival i-concier information exists
: Unreceived i-mode mail exists in the i-mode Center
: Auto-send mail exists
: During i-αppli operation
: Alarm clock ON

Bottom of the display

: New arrival
: Silent mode ON
: In Public mode (Drive mode)
: Record message ON
: IC card lock ON
: 1Seg reserved recording
: microSD card is inserted in Communication mode
: Pedometer/ACT monitor is set
: Software update notice

Character Entry

Switching modes

Switching input modes : On the character entry screen, [Mail] (several times) ▶ [●]

Switching one-/two-byte : When switching items are displayed, [◎]

Entering/Converting (5-touch method)

The characters are inserted at the cursor position.

[0] - [9] : Change input characters by input mode and pressing keys several times

[✓] : Return to the previous character

[CLR] : Delete characters

[✱] : Add voiced/semi-voiced sound, switch upper/lower case.

Entering pictograms

On the character entry screen, [Camera] ▶ Select pictogram

Entering smileys in editing screen of mail message

On the character entry screen, [MENU] ▶ [5][1] ▶ Select a smiley type ▶ Select a smiley

Lock/Security

Changing the terminal security code

[MENU] ▶ [8][4][6] ▶ Authenticate ▶ Enter a new terminal security code ▶ Enter the new terminal security code in New terminal security code-check field ▶ [Camera] [Save]

Changing PIN/PIN2 code

[MENU] ▶ [8][4][5] ▶ [1] or [2] ▶ Authenticate ▶ Enter the current PIN code ▶ Enter a new code in New PIN code entry field and in New PIN code - check field ▶ [Camera] [Save]

Activating/Deactivating Operation lock

Activating/Deactivating : [Lock] (besides key operation, it operates when the screen is off)

Setting Security lock

[MENU] ▶ [8][4][1][2] ▶ Authenticate ▶ Set required items ▶ [Camera] [Save]

Deactivating temporarily : In the screen off state, [Lock] ▶ Authenticate

Sound/Screen Setting

Setting Call ring alert

MENU ▶ 8 1 1 1 ▶ 1 or 2 ▶ Set required items ▶ 📷 [Set]

Selecting stand-by display

<Example> Setting an image stored by default to the stand-by display

MENU ▶ 8 2 1 1 ▶ 1 ▶ "Yes" ▶ 6 ▶ Select an image ▶ "Yes"

Activating/Deactivating Privacy view

Make the display to be less-visible to the people around you.

MULTI (1 sec. or more) or ⍰ (1 sec. or more)

Setting Light alert

<Example> Setting Light alert for incoming call/ message

MENU ▶ 8 2 5 1 ▶ Set required items ▶ 📷 [Set]

Kisekae Tool

Set the stand-by display, menu, etc. collectively with a predefined combination.

<Example> Setting Kisekae Tool stored by default

MENU ▶ 8 3 1 2 ▶ Move the cursor to a Kisekae Tool ▶ 📷 [Set] ▶ "Yes"

Voice/Videophone Calls

Entering a phone number to make a call

1 Enter a phone number ▶ ✆ (voice call) or 📷 (videophone call)
   ◉ : Put a call on hold/Cancel hold
2 When ending the call, ⏎

Using Redial/Received calls to make a call

◎ (Redial) or ◎ (Received calls) ▶ Move the cursor to a party ▶ ✆ (voice call) or iα (videophone call)

Using phonebook to make a call

◎ ▶ Search the phonebook ▶ Move the cursor to an entry ▶ ✆ (voice call) or iα (videophone call)

Receiving a call

1 Receive
   While receiving a call, ⏎ : On hold
2 ✆ (voice/videophone call) or iα (videophone call)
3 When ending the call, ⏎

Phonebook

Adding to FOMA terminal phonebook

Add entries to FOMA terminal phonebook.
More information than UIM phonebook can be registered.
◎ (1 sec. or more) ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ 📷 [Save]

Adding to UIM phonebook

MENU ▶ 4 4 ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ 📷 [Save]

Searching FOMA terminal phonebook

MENU ▶ 4 1 ▶ 1 - 7

Editing FOMA terminal phonebook

◎ ▶ Search the phonebook ▶ Move the cursor to an entry ▶ MENU ▶ 3 1 ▶ Edit ▶ 📷 [Save] ▶ "Overwrite" or "New entry"
When you select "Overwrite", an overwriting confirmation screen appears.

Mail

Creating/sending mails

1 [✉] ▶ [✉] [Write]
2 Select [To] ▶ Select input method ▶ Enter or select the receiver
3 Select [📄] ▶ Enter the subject
4 "Msg" ▶ Enter a text
- **Creating Deco-mail :** "Msg" ▶ [iα] ▶ Select a decoration icon ▶ Decorate

5 [📷] [Send]

File attachment

On the mail creation screen, select [📎] ▶ Select a file to attach ▶ Edit a mail ▶ [📷] [Send]

Displaying a mail in the mailbox

[✉] ▶ [1] or [4] or [5] ▶ Select a folder ▶ Select a mail

Check new message (mail)

[✉] (1 sec. or more)

Camera

Still camera

[📷] or [side key] (1 sec. or more) ▶ Point the camera at an object and ◉ [Shoot] or [side key] ▶ ◉ [Save] or [side key]

Movie camera

[MENU] ▶ [6][4][2] ▶ Point the camera at an object and ◉ [Shoot] or [side key] ▶ When you want to stop shooting, ◉ [Stop] or [side key] ▶ ◉ [Save] or [side key]

Displaying images

[MENU] ▶ [5][1][1] ▶ Select an image

Playing moving pictures

[MENU] ▶ [5][4][2] ▶ Select a moving picture

Operations while playing moving picture

[up/down key] : Adjust the volume
[left/right key] : Rewind/Fast forward play
◉ : Pause/Play/Play from the beginning (in stop)
[📷] : Stop

1Seg

Creating a channel list using preset (for the first-time creation)

[MENU] ▶ [6][9][7] ▶ "Yes" ▶ "Use preset" ▶ Select an area ▶ "Yes"

Setting a channel list

[MENU] ▶ [6][9][7] ▶ Move the cursor to Channel list ▶ [iα] [Set]

Activating 1Seg

[W TV] (1 sec. or more)

Operations while watching

[✎] : Switch watching screen
[✉] [Low]/[iα] [High] : Adjust the volume
[side key] **(1 sec. or more) :** Start/Stop recording video
[side key] : Record still image
[MENU] ▶ [9] : Display Key function help

Reserving watching/recording

[MENU] ▶ [6][9][4] ▶ [MENU] ▶ [1] ▶ Select an entry method and set the program ▶ [📷] [Save] ▶ [📷] [Save]

Playing a recorded program

[MENU] ▶ [5][0] ▶ Select the program saved location ▶ Select the data

Music&Video Channel/MUSIC Player

Playing Music&Video Channel

MENU ▶ 9 2 ▶ Select a program

Playing music in MUSIC Player

MENU ▶ 9 1 ▶ 2 - 7 ▶ Select music data

Operations while playing

◉, ▣[*1] : Pause/Play
◉ : Adjust the volume
◉ **(1 sec. or more) :** Rewind/Fast forward
◉ : Move to the beginning of the chapter/tune[*2]
◉ : Move to the next chapter/tune
▣ **(quickly twice) :** Save to Quick playlist[*1]
▣ **(1 sec. or more) :** Stop[*1]

*1 Only valid for MUSIC Player.
*2 If playing time is within 3 seconds, move to the previous chapter/tune.

Network Service

Voice Mail Service

MENU ▶ 8 8 1 1 ▶ Perform the following operation

Activate : 1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter ring time
Deactivate : 3 ▶ "Yes"
Play messages : 5 ▶ 1 or 2 ▶ "Yes" ▶ Follow the guidance to operate

Call Waiting Service

MENU ▶ 8 8 2 1 ▶ 1 (Activate) or 2 (Deactivate) ▶ "Yes"

Operations during Call waiting are as follows.

During a voice call, ✆ : Answer a voice call from the second party
iα : Switch to another party

Call Forwarding Service

MENU ▶ 8 8 2 2 ▶ Perform the next operation

Activate : 1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter a phone number ▶ 📷 [OK] ▶ "Yes" ▶ Enter ring time
Deactivate : 2 ▶ "Yes"

Other Main Functions

Function	Operating procedure
Start/Cancel Self mode	CLR (1 sec. or more)
Start/Cancel Public mode (Drive mode)	✱ (1 sec. or more)
Display iMenu	iα
Display i-αppli folder list	iα (1 sec. or more)
Display Received calls/Redial	◉ / ◉
Start/Cancel IC card lock	◉ (1 sec. or more)*
Display Scheduler	◉
Display alarm list	◉ (1 sec. or more)
Start/Cancel Silent mode	# (1 sec. or more)
Start i-Widget	W/TV
Start quick search	🔍
New Task start menu	MULTI

* Authentication is required to cancel.

Emergency call

Service	Phone No.
Police	110 (no area code)
Fire and ambulance	119 (no area code)
Marine emergency	118 (no area code)

Overseas use

Refer to "Mobile Phone User's Guide [International Services]", DOCOMO International Services website and "海外ご利用ガイド (Overseas usage guide)" preinstalled in My Document of Data Box (in Japanese only).

Making a call/videophone call

- When making a call to WORLD WING user, the call is forwarded internationally from Japan even when staying in the same country. Enter "+" and Japans country code "81".

International call (including to Japan) : [0] (1 sec. or more) ▶ Country code ▶ Enter a phone number without the leading "0" of the area code (City code) ▶ [voice call key] (voice call) or [camera key] (videophone call)

Call inside the country you stay : Enter a phone number ▶ [voice call key] (voice call) or [camera key] (videophone call) ▶ "No, use original"

Receiving a call/videophone call

A call is received ▶ [voice call key] (voice call) or or [videophone key] (videophone call)

Setting after returned to Japan

If FOMA terminal is not automatically connected to FOMA network after turning power ON when you return to Japan, set Network search setting to "Auto".

Inquiries

Please check on the number before dialing.

General Inquiries
<docomo Information Center>

<In English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean>

0120-005-250 (toll free)

<In Japanese only>

No prefix 151 (toll free)

0120-800-000 (toll free)

* Available only from mobile phones and PHSs.

Repairs

<In Japanese only>

No prefix 113 (toll free)

0120-800-000 (toll free)

* Available only from mobile phones and PHSs.

Omakase Lock

* If you are a docomo Premier Club member, the service is available any number of times with no commission. If you are not a member, the charge for the service occurs (however, you are not charged if you subscribe to this service at the same time as service interruption or during interruption.).

Setting/Canceling Omakase Lock

<In Japanese only>

0120-524-360

Available 24 hours a day (open all year round)

* Unavailable from part of IP phones.

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas

<docomo Information Center>

(24 hours)

● **From DOCOMO mobile phone**

International call access code for the country you stay **-81-3-6832-6600*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-04C, you should dial the number +81-3-6832-6600. (Press [0] for 1 sec. or more to enter "+".)

● **From land-line phone <Universal number>**

Universal number international prefix **-8000120-0151***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas

<Network Support and Operation Center>

(24 hours)

● **From DOCOMO mobile phone**

International call access code for the country you stay **-81-3-6718-1414*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-04C, you should dial the number +81-3-6718-1414. (Press [0] for 1 sec. or more to enter "+".)

● **From land-line phone <Universal number>**

Universal number international prefix **-8005931-8600***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

索引

MEMO

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　i Menu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

・航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

・運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00〜午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
　ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** （無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-04Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** （無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-04Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。

VEGETABLE OIL INK

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

'11.1（1版）
CA92002-6340

F-04C
パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、F-04Cでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'11.1（1版）
CA92002-6346

データ通信

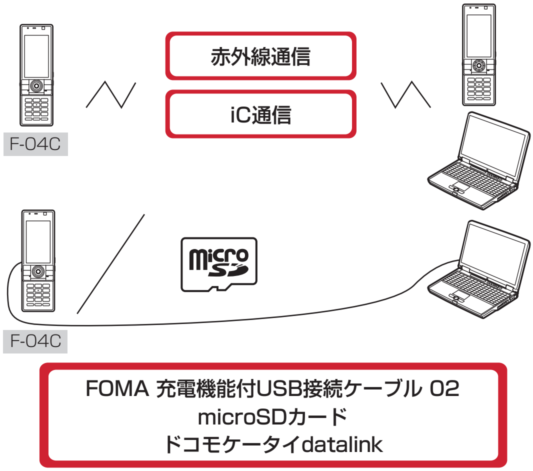
FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信は利用できません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

❖データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- 転送方法により送受信できるデータが異なります。転送方法ごとの送受信可能なデータについては、FOMA端末の「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）をご覧ください。



❖パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarionⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。

※ 受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

❖64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機 ディスプレイ解像度1,024×600ドット（1,024×768ドット※）以上、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上　　Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版1GB以上、64ビット版2GB以上
ハードディスク容量	5MB（10MB※）以上の空き容量
Webブラウザ※	Internet Explorer 6.0以上
メールソフト※	WindowsメールおよびOutlook Express 6.0

※ ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境です。

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご覧ください。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降（Windows XPの場合は、Microsoft Internet Explorer6.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①Windows 7、Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows XPのとき：「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して「OK」をクリック
  ＜CD-ROMドライブ名＞：¥index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によるもので、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
  ※ お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

◆必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-04C用CD-ROM」

✔お知らせ

- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◆ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

❖ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❖ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、FirstPass PCソフトを利用します。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
サービス詳細：http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/firstpass/
ダウンロード：http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/utility/firstpass/index.html

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

◆CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。

❖ ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USBケーブルが必要です。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード､インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし､インストール

▼

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

① FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする→P6
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

▼

② パソコンとFOMA端末を接続する→P5

▼

③ FOMA通信設定ファイルを確認する→P7

▼

ドコモ コネクションマネージャをインストールする→P11

▼

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする※

▼

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する→P15

▼

通信を実行する

※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

❖FOMA通信設定ファイル

USBケーブルでパソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

❖ドコモ コネクションマネージャ

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

◆インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。

※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
　例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

- FOMA通信設定ファイルやドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、次の操作を行います（Windows XPでは表示されません）。
  - Windows 7：「はい」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
  - Windows Vista：「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
- パソコンの操作方法または管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

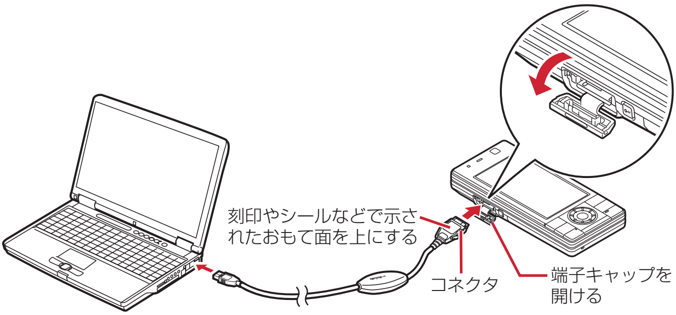
ここでは取り付け／取り外し方法を説明します。FOMA通信設定ファイルのインストールは行いません。→P6

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続すると、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されますが、「キャンセル」をクリックして終了してください。
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）での場合を例に説明しています。

◆USBケーブルを取り付ける

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

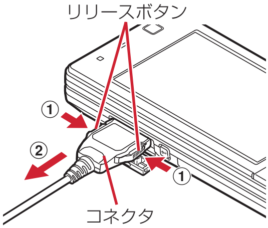
2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む



- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面にが表示されます。

❖取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）



2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

✔お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

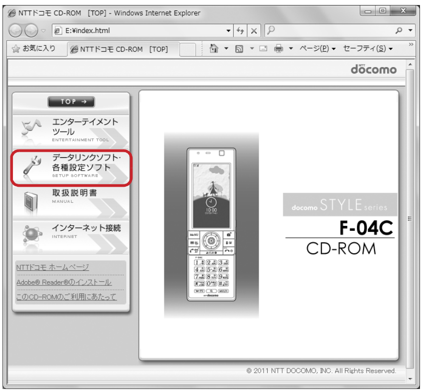
FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作5でFOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されるまで、FOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows 7にインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリック



3 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」をクリックし、表示されるウィンドウから「F04Cst.exe」アイコンをダブルクリック



4 「インストール開始」をクリック

5 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

6 インストール完了画面で「OK」をクリック

「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール→P11

◆FOMA通信設定ファイルを確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows 7で確認するとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック

Windows Vistaのとき

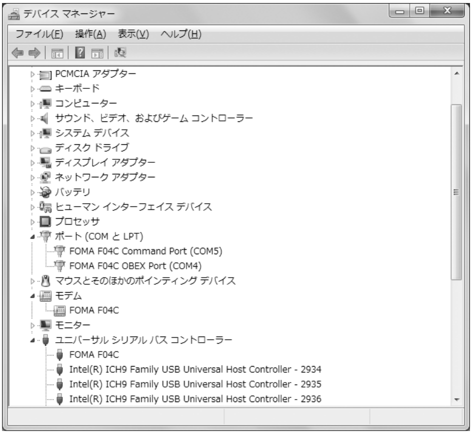
（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

Windows XPのとき

①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック
②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。
  表示される順番はOSにより異なります。
  -ポート（COMとLPT）：
  FOMA F04C Command Port（COMx）※
  FOMA F04C OBEX Port（COMx）※
  -モデム：FOMA F04C
  -ユニバーサルシリアルバスコントローラーまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：FOMA F04C
  ※xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。



◆FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaでアンインストールするとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「プログラム」カテゴリ内にある「プログラムのアンインストール」を順にクリック

Windows XPのとき

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

2 「FOMA F04C USB」を選択して「アンインストールと変更」（Windows XPの場合は「変更と削除」）をクリック

3 「FOMA F04C Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

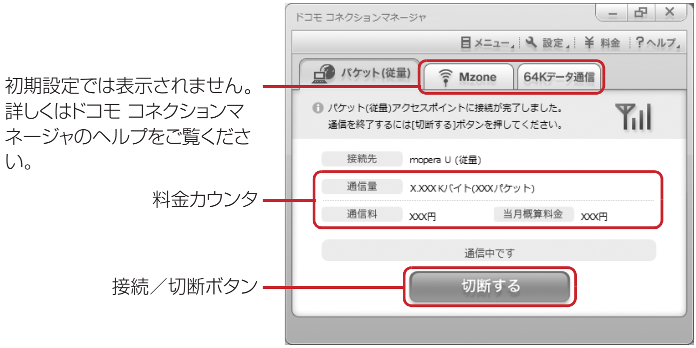
4 「ドライバを削除しました」画面が表示されたら「OK」をクリック

✔お知らせ

- 削除画面で「FOMA F04C USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P6

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ドコモ コネクションマネージャは、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uへのお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
ここでは、ドコモ コネクションマネージャのインストールまでを説明します。



- FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
  詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

✔お知らせ

従量制データ通信（ｉモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
  なお、本FOMA端末をパソコンなどと接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフルの定額対象外通信となりますのでご注意ください。

定額データプランのご利用について

- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

moperaのご利用について

- moperaの接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

◆ ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。

- FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意してください。
- サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
- ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P10「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

❖Internet Explorerの設定を変更する

- ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで変更するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック

Windows XPのとき
「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック

3 「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択



4 「OK」をクリック

❖ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（ドコモ公衆無線LANサービス）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

◆ドコモ コネクションマネージャをインストールする

〈例〉Windows 7にインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「インターネット接続」をクリック



3 「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作③にある「インストール」をクリック

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

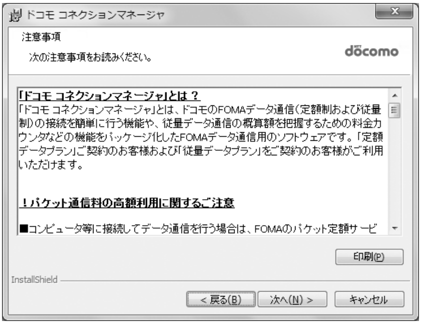


- Windows XPでMSXML6・Wireless LAN APIのインストールの確認画面が表示された場合は「Install」をクリックし、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールが始まります。

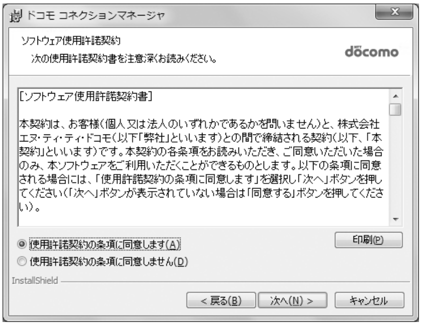
4 「次へ」をクリック



5 注意事項を確認して「次へ」をクリック

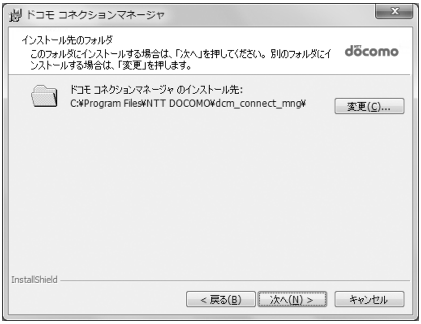


6 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック



7 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

• インストール先を変更する場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定してください。



8 「インストール」をクリック

インストールが始まります。



9 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。



✔お知らせ

• インストールには数分かかる場合があります。
• Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
• データ通信中にインストールを行わないでください。

◆ドコモ コネクションマネージャを起動する

- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで設定するとき

1 **(スタート)→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック**

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。
初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

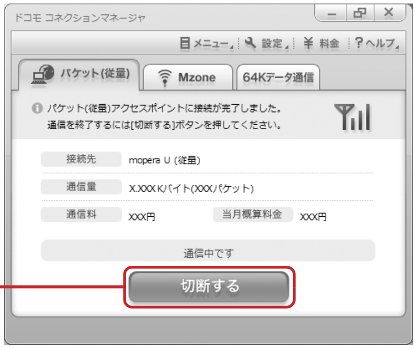


- 設定ウィザードに従い、インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
  設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
  詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

✔お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
- OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

接続／切断ボタン



ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

- パケット通信でmopera UなどHIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、ドコモ コネクションマネージャを利用して設定してください。

◆ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

- データ通信の準備の流れ→P4
- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

接続先（APN）を設定する※→P15
・接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

↓

発信者番号の通知／非通知を設定する※→P17
・必要に応じて設定してください。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定をする
・Windows 7、Windows Vistaで設定する場合→P18
・Windows XPで設定する場合→P20

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。
Windows 7、Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、Windows Vistaの場合は、各OSに対応したソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

◆接続先（APN）を設定する

❖接続先（APN）と登録番号（cid）

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、2と3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が、4には128K通信で接続するためのAPN「mpr.ex-pkt.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid5～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先（APN）の設定	電話帳の項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
接続先名（APN）	相手の名前
＊99＊＊＊<cid>#（パケット通信）	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

❖接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

2 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|”



3 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F04C」に設定されていることを確認→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。



4 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

5 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"＜PDP_TYPE＞","＜APN＞"」の形式で入力→⏎

＜cid＞：5～10の範囲で任意の番号
＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P31「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。



6 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

7 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

◆発信者番号の通知／非通知を設定する

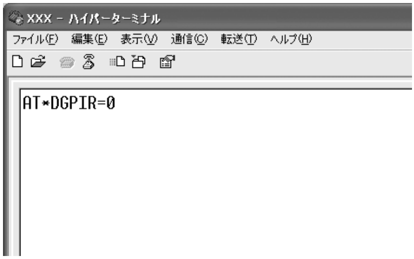
パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「接続先（APN）の設定」の操作1～4を実行

2 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→↵

<n>：0～2
0：そのまま接続（お買い上げ時）
1：184を付けて接続（非通知）
2：186を付けて接続（通知）
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。



3 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

4 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

❖ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。
- ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

◆ダイヤルアップネットワークを設定する

ここでは、パケット通信でmopera UにIP接続する場合を例に説明しています。
- パケット通信でmopera Uまたはmoperaに接続する場合は、電話番号欄に次のように入力してください。
  mopera U（PPP接続）：＊99＊＊＊2＃
  mopera U（IP接続）：＊99＊＊＊3＃
  128K通信（PPP接続）：＊99＊＊＊4＃
  mopera（PPP接続）：＊99＊＊＊1＃
- 64Kデータ通信でmopera U、moperaに接続する場合は、次の電話番号を接続先の電話番号欄に入力してください。
  mopera U：＊8701
  mopera：＊9601

❖Windows 7、Windows Vistaで設定する

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

Windows Vistaのとき
（スタート）→「接続先」を順にクリック

2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

Windows Vistaのとき
「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

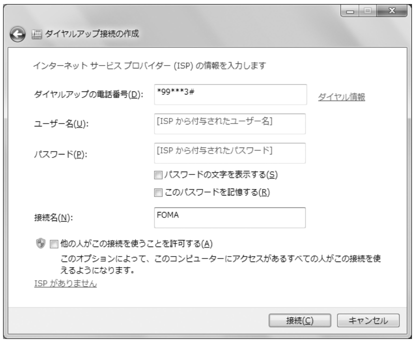


「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき
「FOMA F04C」をクリック

4 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

＜cid＞：P16「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜



5 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

6 「接続の使用準備ができました」画面で「閉じる」をクリック

Windows Vistaのとき
①「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック
②「閉じる」をクリック

7 「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック

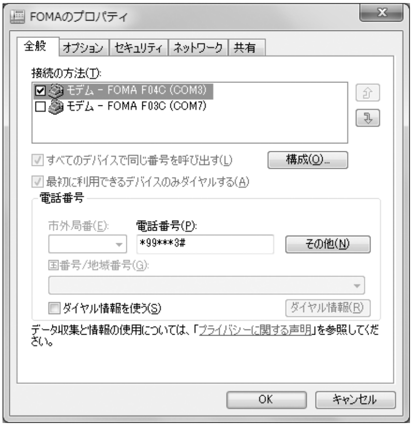
Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック

8 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

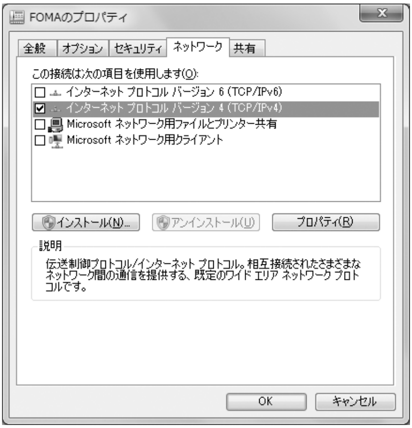
9 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデム-FOMA F04C」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（☐）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。



10 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6)」を非選択（☐）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- その他の項目についてプロバイダなどから指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。



11 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

12 すべての項目を非選択（☐）にして「OK」をクリック



13 「OK」をクリック

通信を実行する→P22

❖Windows XPで設定する

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「新しい接続ウィザード」をクリック

2 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

3 「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

「デバイスの選択」画面が表示されたとき
「モデム-FOMA F04C」を選択して「次へ」をクリック

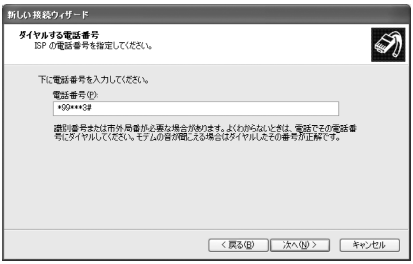
6 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
¥/:＊?<>｜”



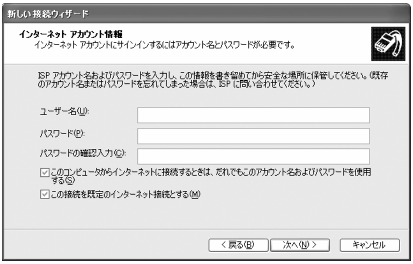
7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

＜cid＞：P16「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号



8 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。



9 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

10 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

11 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック



12 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続方法」で「モデム-FOMA F04C」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。



13 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定→「設定」をクリック

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。



14 すべての項目を非選択（ ）にして「OK」をクリック



15 「OK」をクリック

通信を実行する→P22

◆ダイヤルアップ接続で通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows 7のとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P5

2 （スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック→操作4へ進む

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック→操作4へ進む

3 「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

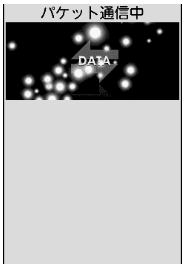
4 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

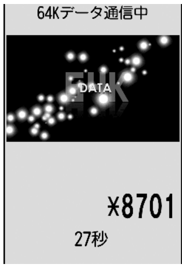


✔お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。



パケット通信のとき



64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ、通信が行えます。

❖通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows 7のとき

1 タスクトレイのをクリック→切断する接続名をクリック→「切断」をクリック

Windows Vistaのとき

タスクトレイのを右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

Windows XPのとき

タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリック→「切断」をクリック

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

❖ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATD＊99＊＊＊3#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

❖ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- **オフラインモード**
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- **オンラインデータモード**
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- **オンラインコマンドモード**
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

✔お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1がデュアルモードまたはAモード時はAナンバー、Bモード時はBナンバーで発信します。

◆ATコマンド一覧

- FOMA F04C（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n>※1 ATE1↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P24
ATI<n> ATI0↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO↵ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n>※1 ATQ0↵ OK	リザルトコードを表示するかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n>※1 ATS0=0↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n>※1 ATS10=1↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1↵ OK	64Kデータ通信時の着サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1↵ OK	64Kデータ通信時の発サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n>※1 ATV1↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n>※1 ATX4↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ※3 ATZ↵ OK（オフライン時）	現在の設定を記録された内容に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
AT%V AT%V↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n>※1 AT&C1↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定すると、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n>※1 AT&D2↵ OK	オンラインデータモード時、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n>※1 AT&E1↵ OK	接続時の速度表示を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F↵ OK（オフライン時）	現在の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n>※1 AT&S0↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n>※2 AT＊DGANSM=0↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGAPL=0,1↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGARL=0,1↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n>※2 AT＊DGPIR=0↵ OK	パケット通信確立時の発信者番号通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P17 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0※1 AT+CBST=116,1,0↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話 AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n>※1 AT+CDIP=0↵ OK	パケット着信および64Kデータ着信時のサブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP?：「+CDIP:<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER↵ +CEER：36 OK	直前の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P30
AT+CGDCONT※2 →P31	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P31

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN※2 →P31	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P31
AT+CGEQREQ※2 →P32	パケット通信発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P32
AT+CGMR AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n>※1 AT+CGREG=0↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：パケット圏外　　stat=1：パケット圏内　　stat=4：不明 stat=5：パケット圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n>※1 AT+CLIP=0↵ OK	64Kデータ通信着信時、相手の発信者番号をパソコンに表示するかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する m=0：番号を通知しないNW設定 m=1：番号を通知するNW設定　　m=2：不明 AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n>※2 AT+CLIR=2↵ OK	64Kデータ通信発信時の発信者番号通知を設定します。 n=0：FOMA端末の発信者番号通知設定に従う　　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n>※1 AT+CMEE=0↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P30「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号（2in1がBモード時はBナンバーを、それ以外はAナンバーを表示） type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper>※2 AT+COPS=0↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　　n=1：マニュアル　　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できるかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>","<newpin>" AT+CPIN="0000"↵ OK	PIN1コードON時、PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 n=READY：コード入力の要求なし　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示
AT+CR=<n>※1 AT+CR=0↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 serv=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n>※1 AT+CRC=0↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 type=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n>※1 AT+CREG=0↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：音声圏外　stat=1：音声圏内　stat=4：不明 stat=5：音声圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>"※1 AT+CUSD=0,"012345678"↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）を設定します。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n>※1 AT+FCLASS=0↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP↵ +GCAP： +CGSM,+FCLASS, +W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM FOMA F04C OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m>※1 AT+IFC=2,2↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n、m=0：フロー制御を行わない　n、m=1：XON/XOFFフロー制御を行う n、m=2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：「+IFC：<n>,<m>」の形式で現在の設定を表示（nはDCE by DTE、mはDTE by DCEの値を示す） AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+WS46=<n>※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=22：3Gネットワーク（FOMA）（お買い上げ時） AT+WS46?：現在の設定を表示　　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT￥S AT￥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・ S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT￥V<n>※1 AT￥V0 OK	接続時の拡張リザルトコードの使用を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
+++ +++(非表示) OK	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。

※1　&WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2　&FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3　&Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

◆切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

◆エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	ドコモUIMカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（ドコモUIMカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

◆ATコマンドの補足説明

- ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。
- お買い上げ時、cid1～4には次のように登録されています。
  cid1：mopera.ne.jp（接続先mopera、PPP接続）
  cid2：mopera.net（接続先mopera U、PPP接続）
  cid3：mopera.net（接続先mopera U、IP接続）
  cid4：mpr.ex-pkt.net（接続先mopera U、PPP接続、128K通信）
- ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または7,232
  ※ ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最大通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「7,232」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  - 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
    AT+CGEQMIN=5↵
    OK
  - 上り384kbps、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
    AT+CGEQMIN=6,,384,7232↵
    OK
  - 上り384kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=7の場合）
    AT+CGEQMIN=7,,384↵
    OK
  - 上りすべての速度、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=8の場合）
    AT+CGEQMIN=8,,,7232↵
    OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64～384kbps、下り64～7,232kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

◆リザルトコード

- ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P26

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

- **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

・ AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　CONNECT

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　1

ATX1が設定されているとき

・ ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
　接続完了時に、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>」の書式で表示します。
　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1 21

・ ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
　接続完了時に、次の書式で表示します。
　「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度><通信プロトコル><接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>」※2
　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/7232
　（mopera.ne.jpに、上り最大384kbps、下り最大7,232kbpsで接続したことを表します。）
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1 21 5

　※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

　※2 AT¥V1が設定されている場合、<接続先APN>以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					さ					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
					し					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
					す					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
					せ					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
					そ					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					た					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					ち					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					つ					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					て					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					と					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
					な					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					に					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					ぬ					
390									濡	
					ね					
390										禰

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
					の					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
					は					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					ひ					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					ふ					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					へ					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点 1~3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点 1~3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点 1~3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	榊	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			